(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2013 年 8 月 1 日(01.08.2013)

WIPO | PCT

(10) 国際公開番号
WO 2013/111239 A1

(51) 国際特許分類:
G06F 3/0488 (2013.01) *G06F 13/00* (2006.01)
G06F 3/041 (2006.01)

(21) 国際出願番号: PCT/JP2012/008103

(22) 国際出願日: 2012 年 12 月 19 日(19.12.2012)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(30) 優先権データ:
特願 2012-014619 2012 年 1 月 26 日(26.01.2012) JP

(71) 出願人: パナソニック株式会社 (PANASONIC CORPORATION) [JP/JP]; 〒5718501 大阪府門真市大字門真１００６番地 Osaka (JP).

(72) 発明者: 松永　繁樹(MATSUNAGA, Shigeki).

(74) 代理人: 新居　広守(NII, Hiromori); 〒5320011 大阪府大阪市淀川区西中島５丁目３番１０号タナカ・イトーピア新大阪ビル６階新居国際特許事務所内 Osaka (JP).

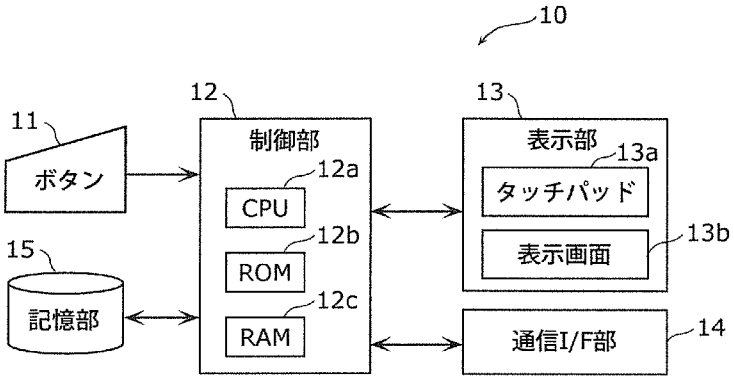
(81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

(84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:
— 国際調査報告（条約第 21 条(3)）

(54) **Title**: MOBILE TERMINAL, TELEVISION BROADCAST RECEIVER, AND DEVICE LINKAGE METHOD

(54) 発明の名称 : 携帯端末、テレビ放送受信装置及び機器連携方法



11 Button
12 Control unit
13 Display unit
13a Touchpad
13b Display screen
14 Communication interface unit
15 Storage unit

(57) **Abstract**: Provided is a mobile terminal that can issue an instruction for device linkage, without special hardware being mounted in the mobile terminal and by means of a simple operation. The mobile terminal is a mobile terminal (10) that is connected to a TV (20) by a communication unit, and is provided with: a communication interface unit (14) for communicating with the TV (20); a storage unit (15) that retains content to be displayed on the TV (20); a display unit (13) that has a touchpad (13a) and a display screen (13b); and a control unit (12) that displays, on the display screen (13b), a content icon which is an icon associated with the content. When the control unit (12) detects that the content icon has been flicked after being pressed for a long time in the display unit (13), the control unit (12), in order for the content to be displayed on the TV (20), reads the content from the storage unit (15) and transfers the content to the TV (20) via the communication interface unit (14).

(57) 要約:

[続葉有]

WO 2013/111239 A1

特殊なハードウェアを携帯端末に搭載することなく、かつ、簡単な操作で機器連携の指示を与えることができる携帯端末を提供する。ＴＶ（２０）と通信路で接続される携帯端末（１０）であって、ＴＶ（２０）と通信するための通信Ｉ／Ｆ部（１４）と、ＴＶ（２０）に表示させるためのコンテンツを保持する記憶部（１５）と、タッチパッド（１３ａ）及び表示画面（１３ｂ）を有する表示部（１３）と、コンテンツに対応づけられたアイコンであるコンテンツアイコンを表示画面（１３ｂ）に表示する制御部（１２）とを備え、制御部（１２）は、表示部（１３）においてコンテンツアイコンが長押しされてからフリックされたことを検出すると、コンテンツがＴＶ（２０）に表示されるように、コンテンツを記憶部（１５）から読み出し、通信Ｉ／Ｆ部（１４）を介してＴＶ（２０）に転送する。

明　細　書

発明の名称 ： 携帯端末、テレビ放送受信装置及び機器連携方法

技術分野

[0001] 本開示は、携帯端末、テレビ放送受信装置、及び、それらの機器連携方法に関し、特に、タッチパネルが搭載された携帯端末における外部機器との機器連携に関するユーザインターフェイスに関する。

背景技術

[0002] 近年、スマートフォン及びタブレットＰＣに代表される、タッチパネルが搭載された携帯端末の普及に伴い、携帯端末と外部機器（例えば、テレビ放送受信装置（以下、単に「ＴＶ」ともいう。））との連携に関する様々な技術が提案されている（例えば、特許文献１参照）。なお、「タッチパネル」とは、液晶パネルのような表示機器とタッチパッドのような位置入力機器とを組み合わせた電子部品であり、タッチスクリーン、タッチ画面とも呼ばれる。

[0003] 特許文献１では、携帯端末での操作によって、Ｗｅｂページの所在情報が携帯端末からＴＶに転送され、その所在情報に基づいてＴＶがインターネットからＷｅｂページを取得して表示する。これによって、携帯端末による、大画面へのコンテンツ表示という機器連携が実現される。

先行技術文献

特許文献

[0004] 特許文献1：特開２０１０－１８２０４６号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0005] しかしながら、上記特許文献１の技術では、携帯端末の表面に設けられたタッチパネルでオブジェクトを選択し、続けて、携帯端末の裏面に設けられたタッチパッドでＴＶへの転送を指示する必要がある。つまり、携帯端末の表面と裏面のそれぞれに対してタッチ操作をする必要があり、操作が複雑で

あるという問題がある。さらに、携帯端末の表面と裏面の両方にタッチセンサー（タッチパネル及びタッチパッド）を設ける必要がある。

[0006] なお、このような機器連携を通常の携帯端末（表面だけにタッチパネルが搭載された携帯端末）で実現しようとした場合には、タッチパネルに表示されたオブジェクトを選択する操作と、選択したオブジェクトを外部機器に転送する指示を行う操作の２ステップが必要となる。タッチパネルに対するこのような２ステップを実現する操作として、フリックが考えられる。しかしながら、フリックでは、表示ウィンドウがスクロールしてしまい、選択したオブジェクトを外部機器に転送するという特殊な指示として用いることができない。なお、「フリック」とは、指あるいはペンをタッチパネルにタッチして少しだけスライドさせる操作、あるいは、タッチパネル上を素早く払うようにタッチする操作をいう。

[0007] そこで、本開示は、このような問題に鑑み、携帯端末の表面と裏面の両面にタッチセンサーを設ける等の特殊なハードウェアを携帯端末に搭載することなく、かつ、簡単な操作で機器連携の指示を与えることができる携帯端末等を提供することを目的とする。

課題を解決するための手段

[0008] 上記目的を達成するために、本開示に係る携帯端末の一形態は、表示装置と通信路で接続される携帯端末であって、前記表示装置と通信するための通信インターフェイス部と、前記表示装置に表示させるためのコンテンツを保持する記憶部と、タッチパッド及び表示画面を有する表示部と、前記コンテンツに対応づけられたアイコンであるコンテンツアイコンを前記表示画面に表示する制御部とを備え、前記制御部は、前記表示部において前記コンテンツアイコンが長押しされてからフリックされたことを検出すると、前記コンテンツが前記表示装置に表示されるように、前記コンテンツを前記記憶部から読み出し、前記通信インターフェイス部を介して前記表示装置に転送する。

発明の効果

[0009] 携帯端末の表面と裏面の両面にタッチセンサーを設ける等の特殊なハードウェアを携帯端末に搭載することなく、かつ、簡単な操作で機器連携の指示を与えることができる携帯端末、及び、そのような携帯端末と外部機器との機器連携を実現できる。

図面の簡単な説明

[0010] [図1]図１は、本開示の実施の形態における通信システムの構成を示す図である。

[図2A]図２Ａは、図１における携帯端末の構成を示すブロック図である。

[図2B]図２Ｂは、図１におけるＴＶの構成を示すブロック図である。

[図3]図３は、コンテンツ転送における携帯端末の基本的な動作（ガイド表示をしない機器連携方法）を示すフローチャートである。

[図4]図４は、図３に示されるコンテンツ転送における通信システムでの通信シーケンスを示す図である。

[図5]図５は、図３に示されるコンテンツ転送における携帯端末及びＴＶでの表示例を示す図である。

[図6]図６は、コンテンツ転送における携帯端末の別の動作（ガイド表示を伴う機器連携方法）を示すフローチャートである。

[図7]図７は、図６に示されるコンテンツ転送における携帯端末及びＴＶでの表示例を示す図である。

[図8]図８は、コンテンツ転送における携帯端末の別の動作（携帯端末及びＴＶのそれぞれにＷｅｂページが表示されている場合の機器連携方法）を示すフローチャートである。

[図9]図９は、図８に示されるコンテンツ転送における携帯端末及びＴＶでの表示例を示す図である。

[図10]図１０は、本開示の実施の形態における第１の変形例を説明する図である。

[図11]図１１は、本開示の実施の形態における第２の変形例を説明する図である。

[図12A]図１２Ａは、本開示の実施の形態における第３の変形例を説明する図である。

[図12B]図１２Ｂは、本開示の実施の形態における第４の変形例を説明する図である。

[図13A]図１３Ａは、本実施の形態の第５の変形例（アップロードの動作例）における一本指による操作の例を示す図である。

[図13B]図１３Ｂは、同第５の変形例（アップロードの動作例）における二本指による操作の例を示す図である。

[図14A]図１４Ａは、本実施の形態の第６の変形例（ダウンロードの動作例）における一本指による操作の例を示す図である。

[図14B]図１４Ｂは、同第６の変形例（ダウンロードの動作例）における二本指による操作の例を示す図である。

[図15]図１５は、同第６の変形例における通信システムでの通信シーケンスを示す図である。

発明を実施するための形態

[0011] （本開示の概要）

上記目的を達成するために、本開示に係る携帯端末の一形態は、表示装置と通信路で接続される携帯端末であって、前記表示装置と通信するための通信インターフェイス部と、前記表示装置に表示させるためのコンテンツを保持する記憶部と、タッチパッド及び表示画面を有する表示部と、前記コンテンツに対応づけられたアイコンであるコンテンツアイコンを前記表示画面に表示する制御部とを備え、前記制御部は、前記表示部において前記コンテンツアイコンが長押しされてからフリックされたことを検出すると、前記コンテンツが前記表示装置に表示されるように、前記コンテンツを前記記憶部から読み出し、前記通信インターフェイス部を介して前記表示装置に転送する。

[0012] これにより、コンテンツアイコンが長押しされてからフリックされた場合に、当該コンテンツアイコンに対応するコンテンツが外部の表示装置に転送

されるので、コンテンツアイコンが長押しされないで(つまり、短押しされて)フリックされる通常のフリック操作（あるいは、スワイプ操作）による画面のスクロール等を引き起こすことなく、簡単な操作で、機器連携が実現される。なお、「スワイプ」（あるいは、「スワイプ操作」）とは、表示画面に指を触れたまま特定の方向になでる操作をいう。

[0013] ここで、前記制御部は、前記コンテンツアイコンが長押しされたことを検出すると、前記表示画面における予め定められた位置に、前記表示装置に対応づけられたアイコンである表示装置アイコンを表示し、前記コンテンツアイコンが前記表示装置アイコンに向けてフリックされた場合に、前記転送をしてもよい。

[0014] これにより、コンテンツアイコンが長押しされたときに、コンテンツ転送のためのガイド表示が行われるので、ユーザは、簡単にフリックの方向を知ることができる。

[0015] また、前記制御部はさらに、前記コンテンツアイコンが長押しされたことを検出すると、前記表示画面における予め定められた位置に、当該携帯端末に対応づけられたアイコンである携帯端末アイコンを表示し、前記コンテンツアイコンが前記携帯端末アイコンに向けてフリックされた場合に、前記コンテンツを前記記憶部から読み出して前記表示画面に表示してもよい。

[0016] これにより、フリックの方向に依存して携帯端末の動作が切り換わるので、ユーザは、簡単な操作で、機器連携を含む多様な処理を選択的に行うことができる。

[0017] また、前記制御部はさらに、前記コンテンツアイコンが前記表示装置アイコンにドラッグされた場合に前記転送を行い、前記コンテンツアイコンが前記携帯端末アイコンにドラッグされた場合に前記表示を行ってもよい。

[0018] これにより、フリックだけでなく、コンテンツアイコンをドラッグすることによっても、携帯端末に対して同様の指示を与えることできので、ユーザ操作の利便性が向上される。

[0019] また、前記記憶部はさらに、第１のＷｅｂページを保持し、前記制御部は

さらに、前記記憶部から前記第１のＷｅｂページを読み出して前記表示画面に表示し、前記表示部において前記第１のＷｅｂページが長押しされてから第１の方向にフリックされたことを検出すると、前記第１のＷｅｂページが前記表示装置に表示されるように、前記通信インターフェイス部を介して前記第１のＷｅｂページの所在情報を前記表示装置に転送してもよい。

[0020] これにより、携帯端末に表示されているＷｅｂページのいずれかの場所を長押ししてフリックするだけで、そのＷｅｂページを外部の表示装置で閲覧することができる。

[0021] また、前記制御部はさらに、前記表示部において前記第１のＷｅｂページが長押しされてから第２の方向にフリックされたことを検出すると、前記表示装置に表示されている第２のＷｅｂページが前記表示画面に表示されるように、前記表示装置に対して前記第２のＷｅｂページの所在情報の送信を指示し、前記表示装置から送信されてくる前記所在情報を前記通信インターフェイス部を介して受信した後に、受信した前記所在情報に基づいて前記第２のＷｅｂページを取得して前記表示画面に表示してもよい。

[0022] これにより、フリックする方向を変えるだけで、携帯端末に表示されているＷｅｂページを外部の表示装置に表示させるか、あるいは、外部の表示装置に表示されているＷｅｂページを携帯端末に表示させるかを選択すること（つまり、Ｗｅｂページの交換）ができる。

[0023] また、前記制御部はさらに、前記表示画面に第３のＷｅｂページの所在情報に対応づけられたリンクアイコンを表示し、前記表示部において前記リンクアイコンが長押しされてからフリックされたことを検出すると、前記第３のＷｅｂページが前記表示装置に表示されるように、前記通信インターフェイス部を介して前記所在情報を前記表示装置に転送してもよい。

[0024] これにより、携帯端末に表示されているＷｅｂページのリンク情報を長押ししてフリックするだけで、リンク先のＷｅｂページを外部の表示装置に表示させることができる。よって、携帯端末での表示状態を維持したまま、外部の表示装置でリンク先のＷｅｂページを見ることができる。

[0025] また、前記記憶部は、複数のコンテンツを保持し、前記制御部は、前記複数のコンテンツに対応づけられたアイコンであるフォルダアイコンを前記表示画面に表示し、前記表示部において前記フォルダアイコンが長押しされてからフリックされたことを検出すると、前記複数のコンテンツが順に又は一覧で前記表示装置に表示されるように、前記複数のコンテンツを前記記憶部から読み出し、前記通信インターフェイス部を介して前記表示装置に転送してもよい。

[0026] これにより、携帯端末に表示されたフォルダアイコンを長押ししてフリックするだけで、そのフォルダに収納されている複数のコンテンツを外部の表示装置に表示させることができる。よって、複数のコンテンツを一つずつ転送する操作が不要となり、コンテンツ転送の操作が簡素化される。

[0027] また、前記制御部は、前記コンテンツアイコンが一本指で長押しされてから第３の方向にフリックされたことを検出すると、前記コンテンツを前記表示装置に送信して前記表示装置に表示させ、前記コンテンツアイコンが二本指で押されてから前記第３の方向にフリックされたことを検出すると、前記コンテンツを前記表示装置に送信して前記表示装置に保存させてもよい。これにより、ユーザは、一本指又は二本指による特定方向へのフリックにより、携帯端末内のコンテンツを携帯端末から表示装置へアップロードするとともに、アップロードした後の表示装置での処理、つまり、コンテンツを表示装置に表示（再生）させるか、コンテンツを表示装置に保存させるかを切り換えることができる。

[0028] また、前記制御部はさらに、前記表示装置が保持するコンテンツ、及び、前記表示装置に表示されているコンテンツの少なくとも一方に対応づけられたアイコンである表示装置コンテンツアイコンを前記表示画面に表示し、前記表示装置コンテンツアイコンが押されたことを検出すると、当該表示装置コンテンツアイコンに対応する前記コンテンツを前記表示装置から取得してもよい。これにより、簡単な操作で、表示装置が保持するコンテンツ、又は、表示装置に表示されているコンテンツを、表示装置から携帯端末にダウン

ロードすることができる。

[0029] 具体的には、前記制御部は、前記表示装置コンテンツアイコンが一本指で長押しされてから第４の方向にフリックされたことを検出すると、当該表示装置コンテンツアイコンに対応する前記コンテンツを前記表示装置から取得して前記表示画面に表示し、前記表示装置コンテンツアイコンが二本指で前記第４の方向にフリックされたことを検出すると、当該表示装置コンテンツアイコンに対応する前記コンテンツを前記表示装置から取得して前記記憶部に保存してもよい。これにより、ユーザは、一本指又は二本指による特定方向へのフリックにより、表示装置内のコンテンツを表示装置から携帯端末へダウンロードするとともに、ダウンロードした後の携帯端末での処理、つまり、コンテンツを携帯端末に表示（再生）させるか、コンテンツを携帯端末に保存させるかを切り換えることができる。

[0030] また、上記目的を達成するために、本開示に係るテレビ放送受信装置の一形態は、携帯端末と通信路で接続されるテレビ放送受信装置であって、表示画面と、放送番組を含むコンテンツを受信する受信部と、前記携帯端末と通信するための通信インターフェイス部と、前記受信部で受信したコンテンツを前記表示画面に表示するとともに、当該コンテンツを前記表示画面に表示していることを、前記通信インターフェイス部を介して前記携帯端末に通知する制御部とを備え、前記制御部はさらに、前記通信インターフェイス部を介して前記携帯端末から、前記表示画面に表示しているコンテンツに対する送信要求を受信すると、当該コンテンツを、前記通信インターフェイス部を介して前記携帯端末に送信する。

[0031] これにより、表示装置においてコンテンツが表示されていることが携帯端末に通知され、かつ、携帯端末から送信要求があった場合に、そのコンテンツが表示装置から携帯端末に転送されるので、携帯端末は、その時点で表示装置に表示されているコンテンツをダウンロードすることが可能となる。

[0032] また、上記目的を達成するために、本開示に係る機器連携方法の一形態は、表示装置と通信路で接続される携帯端末による機器連携方法であって、前

記携帯端末は、前記表示装置と通信するための通信インターフェイス部と、前記表示装置に表示させるためのコンテンツを保持する記憶部と、タッチパッド及び表示画面を有する表示部とを備え、前記機器連携方法は、前記コンテンツに対応づけられたアイコンであるコンテンツアイコンを前記表示画面に表示するステップと、前記表示部において前記コンテンツアイコンが長押しされてからフリックされたことを検出すると、前記コンテンツが前記表示装置に表示されるように、前記コンテンツを前記記憶部から読み出し、前記通信インターフェイス部を介して前記表示装置に転送するステップとを含む。

[0033] これにより、携帯端末に表示されたコンテンツアイコンを長押ししてフリックするという簡単な操作をするだけで、画面のスクロール等を引き起こすことなく、当該コンテンツアイコンに対応づけられたコンテンツを外部の表示装置に転送することができる。よって、簡単な操作で、機器連携が実現される。

[0034] なお、本開示の対象は、装置及び方法として実現できるだけでなく、方法に含まれるステップをコンピュータ（あるいは、プロセッサ）に実行させるプログラムとして実現したり、そのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能なＣＤ－ＲＯＭなどの記録媒体として実現したり、そのプログラムを示す情報、データ又は信号として実現したりすることもできる。そして、それらのプログラム、情報、データ及び信号は、インターネット等の通信ネットワークを介して配信することもできる。

[0035] （実施の形態）

以下、本開示の実施の形態について、図面を用いて詳細に説明する。なお、以下で説明する実施の形態は、いずれも好ましい一具体例を示すものである。以下の実施の形態で示される数値、形状、構成要素、構成要素の配置位置及び接続形態、ステップ、ステップの順序などは、一例であり、本開示の対象を限定する主旨ではない。本開示の対象は、請求の範囲によって特定される。よって、以下の実施の形態における構成要素のうち、本開示の対象の

最上位概念を示す独立請求項に記載されていない構成要素については、本開示における課題を達成するのに必ずしも必要ではないが、より好ましい形態を構成するものとして説明される。つまり、発明者（ら）は、当業者が本開示を十分に理解するために添付図面および以下の説明を提供するのであって、これらによって請求の範囲に記載の主題を限定することを意図するものではない。

[0036] 図１は、本実施の形態における通信システム１の構成を示す図である。この通信システム１は、携帯端末１０に保持されているコンテンツを外部機器である表示装置（ここでは、ＴＶ２０）に転送して表示させる機器連携を可能にした通信システムの一例であり、ここでは、家庭内の無線ＬＡＮで接続された携帯端末１０、ＴＶ２０及び無線ルータ３０から構成される。

[0037] 携帯端末１０は、表示装置（ここでは、ＴＶ２０）と通信路で接続される携帯端末の一例であり、タッチパネル等の表示部１３及びボタン１１を備えるスマートフォン又はタブレットＰＣ等である。

[0038] ＴＶ２０は、携帯端末１０と通信路で接続される表示装置の一例であり、受信した放送番組を表示画面２３に表示するテレビ放送受信装置としての機能だけでなく、アプリケーションプログラムを実行するＣＰＵ及び無線ＬＡＮ用の通信Ｉ／Ｆ（インターフェイス）部２４等を備えることで、通信路を介して携帯端末１０と機器連携する外部機器としても機能する。

[0039] 無線ルータ３０は、公衆回線網であるインターネット３１と家庭内の無線ＬＡＮとのゲートウェイ装置であり、通信路である無線ＬＡＮを介して携帯端末１０及びＴＶ２０と通信することで、携帯端末１０とＴＶ２０との通信、及び、携帯端末１０及びＴＶ２０とインターネット３１との通信を可能にする。なお、インターネット３１は、インターネット・プロトコル技術を用いて相互接続されたコンピュータネットワークである。

[0040] 図２Ａは、図１における携帯端末１０の構成を示すブロック図である。この携帯端末１０は、機器連携の機能をもつ携帯端末であり、ボタン１１、制御部１２、表示部１３、通信Ｉ／Ｆ（インターフェイス）部１４及び記憶部

１５を備える。

[0041] ボタン１１は、ユーザの指示を受け付ける入力部として機能するハードウェアのボタンである。

[0042] 表示部１３は、タッチパッド１３ａ及び液晶パネル等の表示画面１３ｂを有するタッチパネルである。

[0043] 通信Ｉ／Ｆ部１４は、無線ルータ３０を介してＴＶ２０と通信したり、インターネット３１にアクセスしたりするための通信インターフェイス部の一例であり、例えば、無線ＬＡＮ用のインターフェイス・カード等である。なお、この通信Ｉ／Ｆ部１４に、３Ｇ（第３世代携帯電話）等の携帯電話網を介した通話を可能にする電話機としても機能が含まれてもよい。

[0044] 記憶部１５は、機器連携としてＴＶ２０に表示させるコンテンツを保持する記憶部の一例であり、例えば、写真、動画、Ｗｅｂページ等のコンテンツを保持する不揮発性のメモリである。

[0045] 制御部１２は、記憶部１５に保持されているコンテンツに対応づけられたアイコンであるコンテンツアイコンを表示画面１３ｂに表示する制御部の一例であり、ボタン１１、表示部１３及び通信Ｉ／Ｆ部１４を制御するためのＣＰＵ１２ａ、ＲＯＭ１２ｂ及びＲＡＭ１２ｃから構成される。ＲＯＭ１２ｂは、この制御部１２がもつ機能を実現するＯＳ（Ｏｐｅｒａｔｉｎｇ Ｓｙｓｔｅｍ）及びアプリケーションプログラム等のプログラム及びデータが格納された読み出し専用メモリである。ＣＰＵ１２ａは、ＲＯＭ１２ｂに格納されたプログラムを実行するプロセッサである。ＲＡＭ１２ｃは、ＣＰＵ１２ａがプログラムを実行するための作業領域として機能する一時的な記憶領域である。なお、上述のプログラム及びデータの全部又は一部は、不揮発性メモリとして機能する記憶部１５に格納されてもよい。

[0046] なお、「アイコン」とは、表示画面１３ｂに表示される画像オブジェクトであり、絵だけに限られず、記号、文字、静止画、動画、サムネイル画像、及び、それらの混合から構成された画像オブジェクトが含まれる。

[0047] ここで、制御部１２は、機器連携として、次の処理を行う。

[0048] つまり、制御部１２は、表示部１３においてコンテンツアイコンが長押しされてからフリックされたことを検出すると、そのコンテンツアイコンに対応するコンテンツがＴＶ２０に表示されるように、コンテンツを記憶部１５から読み出し、通信Ｉ／Ｆ部１４及び無線ルータ３０を介してＴＶ２０に転送する。なお、ＴＶ２０では、携帯端末１０からコンテンツが転送されてくると、そのコンテンツを受信し、自らの画面に表示するアプリケーションプログラムが実行されている。ここで、「長押し」とは、予め定められた時間（例えば、０．５秒）以上の間、表示部１３（厳密には、タッチパッド１３ａ）に指又はペンがタッチされ続ける操作をいい、予め定められた時間よりも短い時間だけタッチされる通常の操作（「タップ」）と区別される。

[0049] ここで、携帯端末１０での事前設定によっては（表示ガイドをオンさせる設定になっている場合には）、制御部１２は、コンテンツアイコンが長押しされたことを検出すると、ガイド表示として、表示画面１３ｂにおける予め定められた位置に、ＴＶ２０に対応づけられたアイコンであるＴＶアイコンと、この携帯端末１０に対応づけられたアイコンである携帯端末アイコンとを表示する。本実施の形態では、表示画面１３ｂの上方（上端）にＴＶアイコンを表示し、表示画面１３ｂの下方（下端）に携帯端末アイコンを表示する。

[0050] そして、制御部１２は、長押しされたコンテンツアイコンがＴＶアイコンに向けてフリックされた場合には、そのコンテンツアイコンに対応づけられたコンテンツを記憶部１５から読み出し、通信Ｉ／Ｆ部１４及び無線ルータ３０を介してＴＶ２０に転送する。一方、長押しされたコンテンツアイコンが携帯端末アイコンに向けてフリックされた場合には、制御部１２は、そのコンテンツアイコンに対応づけられたコンテンツを記憶部１５から読み出し、表示画面１３ｂに表示する。なお、コンテンツアイコンに対応づけられたコンテンツが動画である場合には、コンテンツアイコンがＴＶアイコンに向けてフリックされたときには、その動画がＴＶ２０に転送されてＴＶ２０で再生され、一方、コンテンツアイコンが携帯端末アイコンに向けてフリック

されたときには、その動画が携帯端末１０で再生される。

[0051] なお、コンテンツアイコンが長押しされずに（つまり、短押しされて）フリックされた場合には、制御部１２は、その場面及びタッチされた位置に応じた通常のユーザインターフェイス処理（フリック操作がされた場合における表示ウィンドウのスクロール等）を行う。

[0052] このような携帯端末１０の機能により、ユーザは、携帯端末１０に表示されたコンテンツアイコンを長押ししてフリックするという簡単な操作をするだけで、表示ウィンドウをスクロールさせることなく、対応するコンテンツを、大画面をもつＴＶ２０に表示あるいは再生させたり、携帯端末１０に表示あるいは再生させたりすることができる。よって、ユーザは、ＴＶ２０を、あたかも携帯端末１０に接続された大型ディスプレイとして、使用することができる。

[0053] なお、制御部１２は、上述したコンテンツアイコンに対する２ステップの操作（長押し及びフリック）に加えて、コンテンツアイコンに対する長押し及びドラッグの操作であっても、上述したフリックの場合と同様の処理を行ってもよい。つまり、制御部１２はさらに、コンテンツアイコンが長押しされてＴＶアイコンにドラッグされた場合に上述の転送を行い、コンテンツアイコンが携帯端末アイコンにドラッグされた場合に上述の表示あるいは再生を行ってもよい。

[0054] また、携帯端末１０及びＴＶ２０が無線ルータ３０を介してインターネット３１にアクセスしている場合、つまり、携帯端末１０及びＴＶ２０のそれぞれにＷｅｂページが表示されている場合には、携帯端末１０での同様の操作によって、一方に表示されているＷｅｂページを他方にも表示させることができる。

[0055] つまり、制御部１２は、ＲＡＭ１２ｃ又は記憶部１５に保持されているＷｅｂページを読み出して表示画面１３ｂに表示しているときに、表示部１３においてそのＷｅｂページが長押しされてから第１の方向にフリックされたことを検出すると、第１のＷｅｂページがＴＶ２０に表示されるように、通

信Ｉ／Ｆ部１４及び無線ルータ３０を介してそのＷｅｂページの所在情報であるＵＲＬ（Ｕｎｉｆｏｒｍ　Ｒｅｓｏｕｒｃｅ　Ｌｏｃａｔｏｒ）をＴＶ２０に転送する。一方、表示部１３においてそのＷｅｂページが長押しされてから第２の方向（第１の方向とは異なる方向）にフリックされたことを検出すると、制御部１２は、ＴＶ２０に表示されているＷｅｂページが表示画面１３ｂに表示されるように、ＴＶ２０に対してＴＶ２０で表示されているＷｅｂページのＵＲＬの送信を指示し、ＴＶ２０から送信されてくるＷｅｂページのＵＲＬを通信Ｉ／Ｆ部１４を介して受信し、受信したＵＲＬに対応するＷｅｂページをインターネット３１から取得して表示画面１３ｂに表示する。

[0056] なお、第１の方向及び第２の方向は、予め定められた表示画面１３ｂにおける方向（例えば、上方及び下方）であってもよいし、上述のようなガイド表示が存在する方向（例えば、ＴＶアイコンが表示されている方向、及び、携帯端末アイコンが表示されている方向）であってもよい。

[0057] また、携帯端末１０（あるいは、ＴＶ２０）からＴＶ２０（あるいは、携帯端末１０）に転送されたＷｅｂページは、ＴＶ２０（あるいは、携帯端末１０）に表示されていたＷｅｂページに上書き（更新）されてもよいし、ＴＶ２０（あるいは、携帯端末１０）に表示されていたＷｅｂページを残したまま、別のウィンドウに表示されてもよい。

[0058] 図２Ｂは、図１におけるＴＶ２０の構成を示すブロック図である。このＴＶ２０は、携帯端末１０と機器連携する表示装置の一例（ここでは、テレビ放送受信装置）であり、入力部２１、制御部２２、表示画面２３、通信Ｉ／Ｆ（インターフェイス）部２４、記憶部２５及び受信部２６を備える。

[0059] 受信部２６は、放送番組等のコンテンツを受信する処理部であり、例えば、放送用チューナ、あるいは、録画再生装置等の外部装置からの映像信号を受け付ける外部信号入力部等である。

[0060] 入力部２１は、ユーザの指示を受け付ける処理部であり、例えば、図示されていないリモコンからの信号を受信する受信部、あるいは、操作ボタン等

である。

[0061] 表示画面２３は、液晶パネル等の表示画面であり、ビデオメモリ等の表示用メモリを含む。

[0062] 通信Ｉ／Ｆ部２４は、無線ルータ３０を介して、携帯端末１０と通信したり、インターネット３１にアクセスしたりするための通信インターフェイス部の一例であり、例えば、無線ＬＡＮ用のインターフェイス・カード等である。

[0063] 記憶部２５は、表示画面２３に表示させるコンテンツを保持する記憶部の一例であり、例えば、写真、動画、音声、Ｗｅｂページ等のコンテンツを保持する内蔵又は着脱可能な不揮発性のメモリである。

[0064] 制御部２２は、入力部２１からのユーザの指示に従って、受信部２６で受信した放送番組を含むコンテンツ、記憶部２５に保持されているコンテンツ、及び、通信Ｉ／Ｆ部２４を介して受信したコンテンツを表示画面２３に表示したり、通信Ｉ／Ｆ部２４を介して受信したコンテンツを記憶部２５に保存したりする処理部であり、ＣＰＵ２２ａ、ＲＯＭ２２ｂ、ＲＡＭ２２ｃ及びＣＯＤＥＣ２２ｄを有する。

[0065] ＲＯＭ２２ｂは、この制御部２２がもつ機能を実現するＯＳ（Ｏｐｅｒａｔｉｎｇ　Ｓｙｓｔｅｍ）及びアプリケーションプログラム等のプログラム及びデータが格納された読み出し専用メモリである。ＣＰＵ２２ａは、ＲＯＭ２２ｂに格納されたプログラムを実行するプロセッサである。ＲＡＭ２２ｃは、ＣＰＵ２２ａがプログラムを実行するための作業領域として機能する一時的な記憶領域である。ＣＯＤＥＣ２２ｄは、映像及び音声の圧縮・復号器であり、受信部２６が受信した符号化されたコンテンツ、あるいは、記憶部２５から読み出した符号化されたコンテンツを復号したり、受信部２６が受信したコンテンツ、あるいは、通信Ｉ／Ｆ部２４が受信したコンテンツを符号化して記憶部２５に保存したりする。なお、上述のプログラム及びデータの全部又は一部は、不揮発性メモリとして機能する記憶部２５に格納されてもよい。

[0066] また、制御部２２は、受信部２６で受信したコンテンツを表示画面２３に表示するとともに、当該コンテンツを表示画面２３に表示していることを、通信Ｉ／Ｆ部２４を介して携帯端末１０に通知する。そして、制御部２２は、通信Ｉ／Ｆ部２４を介して、携帯端末１０から、表示画面２３に表示しているコンテンツに対する送信要求を受信すると、当該コンテンツを、通信Ｉ／Ｆ部２４を介して携帯端末１０に送信する。これにより、ＴＶ２０に表示されているコンテンツが携帯端末１０に通知されるとともに、携帯端末１０からの送信要求に応じてそのコンテンツがＴＶ２０から携帯端末１０にダウンロードされる。

[0067] 次に、以上のように構成された本実施の形態における通信システム１の動作について説明する。

[0068] 図３は、コンテンツ転送における携帯端末１０の基本的な動作（ガイド表示をしない機器連携方法）を示すフローチャートである。図４は、このようなコンテンツ転送における通信システム１での通信シーケンスを示す図である。図５は、このようなコンテンツ転送における携帯端末１０及びＴＶ２０での表示例を示す図である。

[0069] いま、制御部１２は、記憶部１５に保持されているコンテンツに対応づけられたアイコンであるコンテンツアイコンを表示画面１３ｂに表示しているとする。制御部１２は、表示画面１３ｂに表示しているコンテンツアイコン（複数のコンテンツアイコンを表示している場合には、そのいずれか）がタッチされたか否かをタッチパッド１３ａを用いて判断する（図３のＳ１０）。ここでは、コンテンツアイコンがタッチされるまで（図３のＳ１０でＹｅｓ）、この判断は繰り返される（図３のＳ１０でＮｏ）。

[0070] コンテンツアイコンがタッチされたと判断すると、制御部１２は、続いて、そのコンテンツアイコンが長押しされたか否かを、タッチパッド１３ａを用いて判断する（図３のＳ１１）。たとえば、０．５秒以上タッチされ続けたか否かを判断する。

[0071] その結果、長押しでなかった（つまり、短押しであった）と判断した場合

には（図３のＳ１１でＮｏ）、制御部１２は、短押しに対応する通常処理（例えば、タップされたと判断して、コンテンツアイコンに対応するコンテンツを表示画面１３ｂに表示する等）を行う（図３のＳ１４）。

[0072] 一方、タッチされたコンテンツアイコンが長押しであったと判断した場合には（図３のＳ１１でＹｅｓ）、制御部１２は、続いて、そのコンテンツアイコンがフリックされたか否かを、タッチパッド１３ａを用いて判断する（図３のＳ１２）。たとえば、一定以上の速度でタッチパッド１３ａをなぞる操作（ここでは、なぞる方向を問わない）が行われた否かを判断する。

[0073] その結果、フリックでなかったと判断した場合には（図３のＳ１２でＮｏ）、制御部１２は、単なる長押しに対応する通常処理（例えば、コンテンツアイコンを選択する等）を行う（図３のＳ１４）。

[0074] 一方、長押しされたコンテンツアイコンがフリックされたと判断した場合には（図３のＳ１２でＹｅｓ）、制御部１２は、そのコンテンツアイコンに対応するコンテンツの転送指示があったと認識し（図４のＳ２０）、そのコンテンツを記憶部１５から読み出し、通信Ｉ／Ｆ部１４及び無線ルータ３０を介してＴＶ２０に転送する（図３のＳ１３、図４のＳ２１及びＳ２２）。そして、携帯端末１０から転送されてきたコンテンツは、所定のアプリケーションプログラムが実行されているＴＶ２０で表示（コンテンツが動画である場合には、再生）される（図４のＳ２３）。つまり、ＴＶ２０の制御部２２は、携帯端末１０から送られてきたコンテンツを通信Ｉ／Ｆ部２４で受信し、表示画面２３に表示する。

[0075] このように、ユーザは、図５に示されるように、携帯端末１０に表示されたコンテンツアイコン４０を長押ししてフリックするという簡単な操作をするだけで（図５の（ａ））、そのコンテンツアイコン４０に対応するコンテンツ４１を、大画面をもつＴＶ２０に表示あるいは再生させることができる（図５の（ｂ））。なお、図５の（ａ）では、ユーザが表示画面１３ｂの上方に向けてフリックする動作が示されているが、この例では、いずれの方向にフリックされても、同様の処理が行われる。

[0076] 図６は、コンテンツ転送における携帯端末１０の別の動作（ガイド表示を伴う機器連携方法）を示すフローチャートである。図７は、このようなコンテンツ転送における携帯端末１０及びＴＶ２０での表示例を示す図である。

[0077] ここでの動作（図６におけるステップ）は、図６と図３とを比較して分かるように、図３におけるフローチャートに、ステップＳ３０、Ｓ３１及びＳ３２が追加されたものに相当する。以下、図３におけるステップと異なる動作を説明する。

[0078] 制御部１２は、図７に示されるように、タッチされたコンテンツアイコン４５が長押しであったと判断した場合には（図６のＳ１１でＹｅｓ）、続いて、ガイド表示として、表示画面１３ｂの上方（上端）にＴＶ２０に対応づけられたアイコンであるＴＶアイコン４６を表示するとともに、表示画面１３ｂの下方（下端）にこの携帯端末１０に対応づけられたアイコンである携帯端末アイコン４７を表示する（図６のＳ３０）。

[0079] そして、制御部１２は、長押しされたコンテンツアイコン４５がフリックされたと判断した場合には（図６のＳ１２でＹｅｓ）、続いて、そのフリックの方向を判断する（図６のＳ３１）。

[0080] その結果、長押しされたコンテンツアイコン４５がＴＶアイコン４６に向けてフリックされたと判断した場合には（図６のＳ３１で「上」）、制御部１２は、そのコンテンツアイコン４５に対応づけられたコンテンツ４８を記憶部１５から読み出し、通信Ｉ／Ｆ部１４及び無線ルータ３０を介してＴＶ２０に転送する。そして、携帯端末１０から転送されてきたコンテンツ４８は、所定のアプリケーションプログラムが実行されているＴＶ２０で表示（コンテンツが動画である場合には、再生）される（図７の（ｃ））。つまり、ＴＶ２０の制御部２２は、携帯端末１０から送られてきたコンテンツを通信Ｉ／Ｆ部２４で受信し、表示画面２３に表示する。

[0081] 一方、長押しされたコンテンツアイコン４５が携帯端末アイコン４７に向けてフリックされたと判断した場合には（図６のＳ３１で「下」）、制御部１２は、そのコンテンツアイコン４５に対応づけられたコンテンツ４８を記

憶部１５から読み出し、表示画面１３ｂに表示（コンテンツが動画である場合には、再生）する（図７の（ｄ））。

[0082] このように、ユーザは、携帯端末１０に表示されたコンテンツアイコン４５を長押ししたときに表示されるガイド表示に従った方向にフリックするだけで、対応するコンテンツを、大画面をもつＴＶ２０に表示あるいは再生させたり、携帯端末１０に表示あるいは再生させたりすることができる。

[0083] 図８は、コンテンツ転送における携帯端末１０の別の動作（携帯端末１０及びＴＶ２０のそれぞれにＷｅｂページが表示されている場合の機器連携方法）を示すフローチャートである。図９は、このようなコンテンツ転送における携帯端末１０及びＴＶ２０での表示例を示す図である。

[0084] ここでの動作（図８におけるステップ）は、図８と図６とを比較して分かるように、図６におけるステップＳ１３がステップＳ３５に置き換わり、図６におけるステップＳ３２がステップＳ３６に置き換わったものに相当する。以下、図６におけるステップと異なる動作を説明する。

[0085] いま、図９の（ａ）に示されるように、携帯端末１０及びＴＶ２０が無線ルータ３０を介してインターネット３１にアクセスし、携帯端末１０にＷｅｂページ５１が表示され、一方、ＴＶ２０にＷｅｂページ５２が表示されているとする。

[0086] なお、このケースでは、図９の（ａ）に示されるように、ガイド表示として、Ｗｅｂページ５１が長押しされたときに、そのＷｅｂページ５１に対応するコンテンツアイコン５０がポップアップ表示される。

[0087] 制御部１２は、いま表示しているＷｅｂページ５１が長押しされてＴＶアイコン４６に向けてフリックされた、つまり、ポップアップ表示されたコンテンツアイコン５０がＴＶアイコン４６に向けてフリックされたと判断した場合には（図８のＳ３１で「上」）、ＲＡＭ１２ｃ又は記憶部１５に保持されているＷｅｂページ５１のＵＲＬを、通信Ｉ／Ｆ部１４及び無線ルータ３０を介してＴＶ２０に転送する。その結果、そのＵＲＬを受け取ったＴＶ２０の制御部２２は、そのＵＲＬに基づいてインターネット３１にアクセスす

ることでＷｅｂページ５１を取得し、取得したＷｅｂページ５１を、それまで表示していたＷｅｂページ５２に上書き（更新）して、あるいは、そのＷｅｂページ５２とは別のウィンドウとして、表示画面２３に、表示又は動画再生をする（図９の（ｂ））。

[0088] 一方、いま表示しているＷｅｂページ５１が長押しされてから携帯端末アイコン４７に向けてフリックされたと判断した場合には（図８のＳ３１で「下」）、制御部１２は、ＴＶ２０に表示されているＷｅｂページ５２を表示画面１３ｂに表示できるように、ＴＶ２０に対してＴＶ２０で表示されているＷｅｂページ５２のＵＲＬの送信を指示する。その指示を受けたＴＶ２０の制御部２２は、表示画面２３に表示しているＷｅｂページ５２のＵＲＬを携帯端末１０に通知する。そして、携帯端末１０の制御部１２は、ＴＶ２０から送信されてくるＵＲＬを受信した後に、そのＵＲＬに基づいてインターネット３１にアクセスすることでＷｅｂページ５２を取得し、取得したＷｅｂページ５２を、それまで表示していたＷｅｂページ５１に上書き（更新）して、あるいは、そのＷｅｂページ５１とは別のウィンドウとして表示画面１３ｂに表示又は動画再生する（図９の（ｃ））。

[0089] このようにして、ユーザは、携帯端末１０に表示されているＷｅｂページ５１を長押ししてフリックするだけで、携帯端末１０に表示されているＷｅｂページ５１をＴＶ２０に転送して表示させたり、ＴＶ２０に表示されているＷｅｂページ５２を携帯端末１０に転送して表示させたりすることができる。よって、ユーザは、携帯端末１０で行っていたインターネットのブラウズ操作を引き続きＴＶ２０で行うことができるし、ＴＶ２０で行っていたインターネットのブラウズ操作を引き続き携帯端末１０で行うこともできる。

[0090] なお、以上のような図８及び図９を用いたＷｅｂページの交換は、携帯端末１０及びＴＶ２０のそれぞれにＷｅｂページが表示されていることを前提に説明されたが、Ｗｅｂページ以外のコンテンツに適用してもよい。たとえば、制御部１２は、携帯端末１０に表示されているコンテンツ又はコンテンツアイコンが長押しされて下方にフリックされたことを検知した場合に、そ

のコンテンツ又はコンテンツアイコンに対応するコンテンツがＷｅｂページであるか否かを判断し、Ｗｅｂページであると判断した場合には、ＴＶ２０に表示されているＷｅｂページのＵＲＬを携帯端末１０に転送し、一方、上記コンテンツがＷｅｂページでないと判断し場合には、そのコンテンツを携帯端末１０に表示又は動画再生するようにしてもよい。

[0091] また、図８及び図９を用いたＷｅｂページの交換では、携帯端末１０とＴＶ２０との間でＷｅｂページのＵＲＬが転送されたが、転送の対象としては、これに限られず、Ｗｅｂページそのもの、あるいは、Ｗｅｂページをラスタライズして生成したイメージデータであってもよい。

[0092] （実施の形態の変形例）

次に、本実施の形態の変形例を説明する。

[0093] 図９に示される例では、Ｗｅｂページ５１又はポップアップ表示されたコンテンツアイコン５０が上方に向けてフリックされた場合に、携帯端末１０に表示されているＷｅｂページ５１のＵＲＬがＴＶ２０に転送されたが、Ｗｅｂページ５１に記載されたリンク先情報をＴＶ２０に転送してもよい。

[0094] たとえば、本実施の形態の第１の変形例を示す図１０のように、携帯端末１０に表示されているＷｅｂページ５１中のリンク情報（リンク先の所在情報であるＵＲＬ、又は、そのＵＲＬに対応づけられた情報）５５がタッチされると、制御部１２は、そのリンク情報５５に対応するリンクアイコン５６をポップアップ表示し、そのリンクアイコン５６が長押しされてからフリックされたことを検出すると、そのリンクアイコン５６に対応づけられたＵＲＬをＴＶ２０に転送する。そして、携帯端末１０から転送されてきたＵＲＬを受け取ったＴＶ２０の制御部２２は、通信Ｉ／Ｆ部２４及び無線ルータ３０を介して、そのＵＲＬ（インターネット３１上に存在する通信装置）にアクセスし、そこに置かれたＷｅｂページ５７を取得して、ＴＶ２０の表示画面２３に表示する（図１０の（ｂ））。

[0095] これによって、携帯端末１０に表示されたＷｅｂページ５１のリンク先（Ｗｅｂページ５７）がＴＶ２０に表示され、ユーザは、引き続き、大画面を

もつＴＶ２０でインターネット３１にアクセスすることができる。

[0096] また、図５に示される例では、コンテンツアイコン４０が長押しされてフリックされるとそのコンテンツアイコン４０に対応する一つのコンテンツ４１がＴＶ２０に転送されたが、複数のコンテンツを収納するフォルダアイコンが長押しされてフリックされてもよい。

[0097] たとえば、本実施の形態の第２の変形例を示す図１１のように、いま、携帯端末１０に、複数のコンテンツ６０ａ～６０ｃを収納しているフォルダに対応するフォルダアイコン６０が表示されているとする。複数のコンテンツ６０ａ～６０ｃは、例えば、記憶部１５に保持されている画像である。フォルダアイコン６０は、複数のコンテンツ６０ａ～６０ｃに対応づけられたアイコンである。

[0098] このときに、長押しされたフォルダアイコン６０がＴＶアイコン４６に向けてフリックされた場合には（図１１の（ａ））、制御部１２は、そのフォルダアイコン６０に対応づけられた複数のコンテンツ６０ａ～６０ｃを記憶部１５から読み出し、通信Ｉ／Ｆ部１４及び無線ルータ３０を介してＴＶ２０に転送する。そして、携帯端末１０から転送されてきた複数のコンテンツ６０ａ～６０ｃは、所定のアプリケーションプログラムが実行されているＴＶ２０で表示（例えば、スライドショーとして順に再生（図１１の（ｂ）～（ｄ））、あるいは、一覧表示）される。なお、長押しされたフォルダアイコン６０が携帯端末アイコン４７に向けてフリックされた場合には、制御部１２は、そのフォルダアイコン６０に対応づけられた複数のコンテンツ６０ａ～６０ｃを記憶部１５から読み出し、表示画面１３ｂに表示（例えば、スライドショーとして順に再生、あるいは、一覧表示）する。

[0099] これによって、ユーザは、一つのアイコン（フォルダアイコン６０）を長押ししてフリックするだけで、携帯端末１０に保持されている複数のコンテンツをＴＶ２０に表示したり、携帯端末１０に表示したりすることができるので、転送したいコンテンツの数だけ同じ操作を繰り返すことを回避できる。

[0100] また、図７の（ｂ）に示されるガイド表示の例では、表示画面１３ｂの上端及び下端にガイド表示がされたが、タッチ又は長押しされたアイコンの周囲にガイド表示がされてもよい。たとえば、本実施の形態の第３の変形例を示す図１２Ａのように、コンテンツアイコン６２がタッチ又は長押しされたときに、フリックする方向に対応するガイド（ここでは、矢印及び文字からなるガイド６３ａ及び６３ｂ）が表示されてもよい。

[0101] これによって、タブレットＰＣのように比較的大きな表示画面を有する携帯端末であっても、着目しているアイコンの近傍にガイドが表示されるので、ユーザは、フリックの方向とその後の動作との対応をすぐに知ることができる。

[0102] また、上記実施の形態では、一本指でアイコンがフリックされたが、二本以上の指でアイコンがフリックされてもよい。そのときに、操作に用いられた指の本数に依存して携帯端末１０の動作が異なってもよい。

[0103] たとえば、本実施の形態の第４の変形例を示す図１２Ｂのように、Ｗｅｂページ中のリンク情報（又は、リンク情報のタッチ／長押しによってポップアップ表示されたリンクアイコン６５）が一本指で長押しされてフリックされた場合には、携帯端末１０で表示されているＷｅｂページのＵＲＬをＴＶ２０に転送し、一方、Ｗｅｂページ中のリンク情報（又は、リンク情報のタッチ／長押しによってポップアップ表示されたリンクアイコン６５）が二本指で長押しされてフリックされた場合には、そのリンク情報（又は、リンクアイコン５６）に対応づけられたＵＲＬをＴＶ２０に転送する。ＴＶ２０の制御部２２は、携帯端末１０から送られてきたＵＲＬを受信すると、インターネット３１にアクセスすることで、そのＵＲＬが示すＷｅｂページを取得し、ＴＶ２０の表示画面２３に表示する。

[0104] その結果、ユーザは、携帯端末１０において、一本指で長押してフリックすることで、携帯端末１０に表示されているＷｅｂページをＴＶ２０にも表示させることができ、一方、二本指で長押してフリックすることで、携帯端末１０に表示されているＷｅｂページのリンク先のＷｅｂページをＴＶ２０

に表示させることができる。または、携帯端末１０でＷｅｂページを表示中、二本指で長押しされてフリックされた場合には、携帯端末１０で表示されているＷｅｂページのＵＲＬをＴＶ２０に転送し、ＴＶ２０にブックマーク登録させても良い。これによって、ユーザは、表示部１３にタッチする指の本数を変えるだけで、各種操作を切り換えることができる。

[0105] なお、一本指による操作と、二本指（あるいは、二本以上の指）による操作に依存して携帯端末１０の動作を変える他の例として、携帯端末１０は、以下のような動作をしてもよい。

[0106] まず、携帯端末１０からＴＶ２０にコンテンツを転送するアップロードにおける動作を説明する。図１３Ａ及び図１３Ｂは、本実施の形態の第５の変形例（アップロードの動作例）を示す図である。図１３Ａは、一本指による操作の例を示し、図１３Ｂは、二本指による操作の例を示す。

[0107] いま、図１３Ａの（ａ）及び図１３Ｂの（ａ）に示されるように、携帯端末１０の表示画面１３ｂには、記憶部１５に保持されているコンテンツに対応づけられたコンテンツアイコン７０が表示されているとする。

[0108] 図１３Ａに示されるように、携帯端末１０の制御部１２は、表示画面１３ｂに表示されているコンテンツアイコン７０が一本指で長押しされてから第３の方向（ここでは、ＴＶアイコン４６が表示されている方向（上方））にフリックされたことを検出すると（図１３Ａの（ａ））、そのコンテンツアイコン７０に対応するコンテンツ７０ａを記憶部１５から読み出し、読み出したコンテンツ７０ａを、表示（再生）コマンドとともに、通信Ｉ／Ｆ部１４及び無線ルータ３０を介して、ＴＶ２０に転送する（図１３Ａの（ｂ））。その結果、コンテンツ７０ａと表示（再生）コマンドとを受け取ったＴＶ２０では、制御部２２は、その表示（再生）コマンドを実行することで、受け取ったコンテンツ７０ａを表示画面２３に表示（コンテンツが動画・音声である場合には、再生）する。なお、上述では、読み出したコンテンツ７０ａは、表示（再生）コマンドとともにＴＶ２０に転送されているが、携帯端末１０の制御部１２が表示（再生）コマンドをＴＶ２０に転送した後で、Ｔ

Ｖ２０の制御部２２からのコンテンツ転送要求に応じて転送されるようにしてもよい。

[0109] 一方、図１３Ｂに示されるように、携帯端末１０の制御部１２は、表示画面１３ｂに表示されているコンテンツアイコン７０が二本指で押されてから第３の方向（ここでは、ＴＶアイコン４６が表示されている方向（上方））にフリックされたことを検出すると（図１３Ｂの（ａ））、そのコンテンツアイコン７０に対応するコンテンツ７０ａを記憶部１５から読み出し、読み出したコンテンツ７０ａを、保存コマンドとともに、通信Ｉ／Ｆ部１４及び無線ルータ３０を介して、ＴＶ２０に転送する（図１３Ｂの（ｂ））。その結果、コンテンツ７０ａと保存コマンドとを受け取ったＴＶ２０では、制御部２２は、その保存コマンドを実行することで、受け取ったコンテンツ７０ａを記憶部２５に保存する。なお、上述では、読み出したコンテンツ７０ａは、保存コマンドとともにＴＶ２０に転送されているが、携帯端末１０の制御部１２が保存コマンドをＴＶ２０に転送した後で、ＴＶ２０の制御部２２からのコンテンツ転送要求に応じて転送されるようにしてもよい。

[0110] このように、本変形例では、携帯端末１０は、表示しているコンテンツアイコン７０が一本指で長押しされてから第３の方向にフリックされたことを検出すると、対応するコンテンツ７０ａをＴＶ２０に送信してＴＶ２０に表示させ、一方、表示しているコンテンツアイコン７０が二本指で押されてから第３の方向にフリックされたことを検出すると、対応するコンテンツ７０ａをＴＶ２０に送信してＴＶ２０に保存させる。これにより、ユーザは、一本指又は二本指による特定方向へのフリックにより、携帯端末１０内のコンテンツを携帯端末１０からＴＶ２０へアップロードするとともに、アップロードした後のＴＶ２０での処理、つまり、コンテンツをＴＶ２０に表示（再生）させるか、コンテンツをＴＶ２０に保存させるかを切り換えることができる。

[0111] なお、図１３Ａの（ａ）及び図１３Ｂの（ａ）に示される例では、携帯端末１０の表示画面１３ｂには、複数のコンテンツのそれぞれに対応する複数

のコンテンツアイコン７０が表示され、それらの複数のコンテンツアイコン７０の中から、操作の対象となる一以上のコンテンツアイコンが、チェックボックス７１を用いて選択されている。この場合には、チェックボックス７１にチェックマークを付けられた一以上のコンテンツアイコンが、一括して、処理の対象となる。たとえば、ユーザは、複数のコンテンツアイコンのチェックボックス７１をタップすることでチェックマークを付け、それらの複数のコンテンツアイコンのいずれかに対して上述した一本指又は二本指による操作を行うことで、それらの複数のコンテンツアイコンに対して、一つの操作で、一括して同じ処理を施すことができる。

[0112] なお、チェックボックス７１は、コンテンツアイコン７０の外に表示されてもよいし、コンテンツアイコン７０の中に（コンテンツアイコンの一部に重畳するように）表示されてもよい。また、チェックマークを付けた複数のコンテンツアイコンのいずれかが一本指又は二本指で押されたときに、複数のコンテンツアイコンが選択されていることを明示する表示（例えば、複数のコンテンツアイコンの集まりを示すアイコンを表示）してもよい。

[0113] 次に、ＴＶ２０から携帯端末１０にコンテンツを転送するダウンロードにおける動作を説明する。図１４Ａ及び図１４Ｂは、本実施の形態の第６の変形例（ダウンロードの動作例）を示す図である。図１４Ａは、一本指による操作の例を示し、図１４Ｂは、二本指による操作の例を示す。図１５は、本第６の変形例における通信システム１での通信シーケンスを示す図である。なお、図１５では、簡略化のため、ルータ３０の図示が省略されている。

[0114] いま、図１４Ａの（ａ）及び図１４Ｂの（ａ）に示されるように、携帯端末１０の表示画面１３ｂには、ＴＶ２０の記憶部２５に保持されているコンテンツに対応づけられたアイコン７２ａ、及び、その時点でＴＶ２０の表示画面２３に表示（再生）されているコンテンツに対応づけられたアイコン７２ｂ（これらのアイコン７２ａ及びアイコン７２ｂを併せて「表示装置コンテンツアイコン７２」と呼ぶ）が表示されている。なお、アイコン７２ａについては、携帯端末１０が、ＴＶ２０に対してＴＶ２０が保持しているコン

テンツの一覧を要求し、その一覧をＴＶ２０から取得し、取得した一覧に基づいて、アイコン７２ａを表示画面１３ｂに表示する（図１５のＳ４０）。また、アイコン７２ｂについては、ＴＶ２０が、定期的に、携帯端末１０に対して、ＴＶ２０の表示画面２３に表示（再生）されているコンテンツを特定する情報を送信（あるいは、コンテンツを表示画面２３に表示していることを通知）し、その情報あるいは通知を受信した携帯端末１０が、受信した情報あるいは通知に対応するアイコン７２ｂを表示画面１３ｂに表示する（図１５のＳ４０）。

[0115] 図１４Ａに示されるように、携帯端末１０の制御部１２は、表示画面１３ｂに表示されている表示装置コンテンツアイコン７２が一本指で長押しされてから第４の方向（ここでは、携帯端末アイコン４７が表示されている方向（下方））にフリックされたこと、あるいは、タップを検出すると（図１４Ａの（ａ）、図１５のＳ４１）、その表示装置コンテンツアイコン７２に対応するコンテンツ７３についての転送要求をＴＶ２０に送信する（図１５のＳ４２）。その転送要求を受信したＴＶ２０の制御部２２は、要求されたコンテンツ７３をＴＶ２０の記憶部２５又は表示用メモリから読み出し、読み出したコンテンツ７３を、携帯端末１０に転送する（図１４Ａの（ｂ）、図１５のＳ４３）。転送されてきたコンテンツ７３を受け取った携帯端末１０の制御部１２は、そのコンテンツ７３を表示画面１３ｂに表示（コンテンツが動画・音声である場合には、再生）する（図１５のＳ４４）。

[0116] 一方、図１４Ｂに示されるように、携帯端末１０の制御部１２は、表示画面１３ｂに表示されている表示装置コンテンツアイコン７２が二本指で第４の方向（ここでは、携帯端末アイコン４７が表示されている方向（下方））にフリックされたことを検出すると（図１４Ｂの（ａ）、図１５のＳ４１）、その表示装置コンテンツアイコン７２に対応するコンテンツ７３についての転送要求をＴＶ２０に送信する（図１５のＳ４２）。その転送要求を受信したＴＶ２０の制御部２２は、要求されたコンテンツ７３をＴＶ２０の記憶部２５又は表示用メモリから読み出し、読み出したコンテンツ７３を、携帯

端末１０に転送する（図１４Ｂの（ｂ）、図１５のＳ４３）。転送されてきたコンテンツ７３を受け取った携帯端末１０の制御部１２は、そのコンテンツ７３を記憶部１５に保存する（図１５のＳ４４）。

[0117] このように、本変形例では、ＴＶ２０が保持するコンテンツ、及び、ＴＶ２０に表示されているコンテンツに対応づけられたアイコンである表示装置コンテンツアイコン７２が携帯端末１０の表示画面１３ｂに表示される。そして、携帯端末１０の制御部１２は、表示装置コンテンツアイコン７２が押されたことを検出すると、当該表示装置コンテンツアイコン７２に対応するコンテンツ７３をＴＶ２０から取得する。より詳しくは、携帯端末１０の制御部１２は、表示装置コンテンツアイコン７２がタップされたこと、又は、一本指で長押しされてから第４の方向にフリックされたことを検出すると、当該表示装置コンテンツアイコン７２に対応するコンテンツ７３をＴＶ２０から取得して表示画面１３ｂに表示し、一方、表示装置コンテンツアイコン７２が二本指で第４の方向にフリックされたことを検出すると、当該表示装置コンテンツアイコン７２に対応するコンテンツ７３をＴＶ２０から取得して記憶部１５に保存する。これにより、ユーザは、一本指又は二本指による特定方向へのフリックにより、ＴＶ２０内のコンテンツをＴＶ２０から携帯端末１０へダウンロードするとともに、ダウンロードした後の携帯端末１０での処理、つまり、コンテンツを携帯端末１０に表示（再生）させるか、コンテンツを携帯端末１０に保存させるかを切り換えることができる。

[0118] また、本変形例では、ＴＶ２０の制御部２２は、受信部２６で受信したコンテンツを表示画面２３に表示するとともに、当該コンテンツを表示画面２３に表示していることを、通信Ｉ／Ｆ部２４を介して携帯端末１０に通知する。そして、ＴＶ２０の制御部２２は、通信Ｉ／Ｆ部２４を介して携帯端末１０から、表示画面２３に表示しているコンテンツに対する送信要求を受信すると、当該コンテンツを、通信Ｉ／Ｆ部２４を介して携帯端末１０に送信する。これによって、ユーザは、その時点でＴＶ２０に表示（再生）されているコンテンツを、手元の携帯端末１０にダウンロードしたり、手元の携帯

端末１０で表示（再生）して視聴したりすることができる。

[0119] なお、本変形例では、携帯端末１０の表示画面１３ｂに、ＴＶ２０の記憶部２５に保持されているコンテンツに対応づけられたアイコン７２ａ、及び、その時点でＴＶ２０の表示画面２３に表示（再生）されているコンテンツに対応づけられたアイコン７２ｂの両方が表示されたが、これらのアイコン７２ａ及び７２ｂのうち、一方だけが表示されてもよい。このようなケースは、ＴＶ２０の記憶部２５にコンテンツが保持されていない場合、又は、その時点でＴＶ２０の表示画面２３にコンテンツが表示（再生）されていない場合が該当する。

[0120] 以上のように、本実施の形態及び変形例によれば、携帯端末に、その表面と裏面の両面にタッチセンサーを設ける等の特殊なハードウェアを搭載することなく、かつ、アイコン長押ししてフリックするという簡単な操作をするだけで、携帯端末と外部機器との機器連携を実現することができる。

[0121] （他の実施の形態）

以上、本開示に係る携帯端末、テレビ放送受信装置及び機器連携方法について、実施の形態及び変形例に基づいて説明したが、本開示は、このような実施の形態及び変形例に限定されない。本開示の主旨を逸脱しない範囲で、実施の形態及び変形例に対して当業者が思いつく各種変形を施して得られる形態や、実施の形態及び変形例で説明した各種機能及び手順を任意に組み合わせて得られる形態も、本開示に含まれる。

[0122] たとえば、図７に示される表示例では、コンテンツアイコン４５が長押しされた直後にガイド表示が行われたが、コンテンツアイコン４５がタッチされた直後にガイド表示が行われてもよい。

[0123] また、上記実施の形態及び変形例では、ガイド表示は、表示画面１３ｂの上方及び下方に対して行われたが、それらの一方だけ、あるいは、他の方向（右、左、右斜め上、右斜め下、左斜め上、左斜め下）に対して行われてもよい。

[0124] また、表示画面１３ｂの上方及び下方等の方向は、携帯端末１０の向きに

依存しない方向（絶対的な方向）であってもよいし、携帯端末１０の向きに依存する方向（相対的な方向）であってもよい。たとえば、携帯端末１０の向きが変わった場合（例えば、鉛直方向に対して縦向きから横向き変わった場合）に、表示されている画面が回転するので、表示されている画面に対して上方及び下方（相対的な方向）が定義されてもよい。

[0125] また、上記実施の形態及び変形例では、コンテンツ等の転送先となる外部機器は、表示装置（ＴＶ２０）であったが、オーディオ再生装置等の他の種類の機器であってもよい。たとえば、携帯端末１０において、音楽コンテンツに対応づけられたコンテンツアイコンが長押しされてフリックされた場合に、外部機器であるオーディオ再生装置に音楽コンテンツを転送し、オーディオ再生装置で再生されてもよい。要するに、転送の対象となるコンテンツは、画像だけに限られず、音楽、機器を制御するスクリプト等であってもよい。

[0126] また、アイコンが一本指又は二本指で長押しされた後に、タッチパッド１３ａ上の同一座標または同一座標付近で一定時間（例えば、２秒）以上静止してから指が離された場合には、制御部１２は、操作がキャンセルされたとみなし、通常状態（表示部１３にタッチされていない状態）に戻ってもよい。

[0127] また、上記実施の形態及び変形例では、ガイド表示をする場合としない場合の例が説明されたが、このような排他的な動作については、事前に、携帯端末１０に設定しておく（設定情報を記憶部１５に保存しておく）ことで、いずれを採用するかを決定すればよい。

[0128] また、上記実施の形態及び変形例における「フリック」操作は、「スワイプ」と呼ばれる操作であってもよい。いずれの操作も、表示画面に指を触れたまま特定の方向に表示画面をなぞる操作であるので、上記実施の形態及び変形例に適用できる。よって、上記実施の形態及び変形例における「フリック」は、「スワイプ」、「フリック又はスワイプ」と読み替えてもよい。

[0129] また、チェックマークを付けることによる複数のコンテンツアイコンの指

定は、第５の変形例において説明されたが、実施の形態及び他の変形例のいずれに適用してもよい。

[0130] また、指の本数と割り当てる機能は任意であり、例えば、３本指の場合、再生と保存とを同時に行うという機能を割り当ててもよいし、携帯端末１０に現在表示しているＧＵＩをＴＶ２０にそのまま転送して表示させる機能でもよい。ＧＵＩを転送する技術としては、ＷｉＦｉ Ｍｉｒａｃａｓｔ（Ｒ）機能を使ってもよい。

[0131] 以上のように、本開示における技術の例示として、実施の形態及び変形例を説明した。そのために、添付図面および詳細な説明を提供した。

[0132] したがって、添付図面および詳細な説明に記載された構成要素の中には、課題解決のために必須な構成要素だけでなく、上記技術を例示するために、課題解決のためには必須でない構成要素も含まれ得る。そのため、それらの必須ではない構成要素が添付図面や詳細な説明に記載されていることをもって、直ちに、それらの必須ではない構成要素が必須であるとの認定をするべきではない。

[0133] また、上述の実施の形態及び変形例は、本開示における技術を例示するためのものであるから、請求の範囲またはその均等の範囲において種々の変更、置き換え、付加、省略などを行うことができる。

産業上の利用可能性

[0134] 本開示の対象は、タッチパネルが搭載された携帯端末及びテレビ放送受信装置として、例えば、スマートフォン、タブレットＰＣ及びテレビ受像機として、特に、通信路で接続される外部機器との連携機能をもつ携帯端末及びテレビ放送受信装置として、利用できる。

符号の説明

[0135]

１ 通信システム

１０ 携帯端末

１１ ボタン

１２、２２ 制御部

１２ａ、２２ａ　ＣＰＵ

１２ｂ、２２ｂ　ＲＯＭ

１２ｃ、２２ｃ　ＲＡＭ

１３　　表示部

１３ａ　タッチパッド

１３ｂ、２３　表示画面

１４、２４　　通信Ｉ／Ｆ部

１５、２５　　記憶部

２０　　ＴＶ（テレビ放送受信装置）

２１　　入力部

２２ｄ　　ＣＯＤＥＣ

２６　　受信部

３０　　無線ルータ

３１　　インターネット

４０、４５、５０、６２、７０　　コンテンツアイコン

４１、４８、６０ａ～６０ｃ、７０ａ、７３　　コンテンツ

４６　　ＴＶアイコン

４７　　携帯端末アイコン

５１、５２、５７　　Ｗｅｂページ

５５　　リンク情報

５６、６５　　リンクアイコン

６０　　フォルダアイコン

６３ａ、６３ｂ　　ガイド（表示）

７１　　チェックボックス

７２（７２ａ、７２ｂ）　　表示装置コンテンツアイコン

請求の範囲

[請求項1] 表示装置と通信路で接続される携帯端末であって、

前記表示装置と通信するための通信インターフェイス部と、

前記表示装置に表示させるためのコンテンツを保持する記憶部と、

タッチパッド及び表示画面を有する表示部と、

前記コンテンツに対応づけられたアイコンであるコンテンツアイコンを前記表示画面に表示する制御部とを備え、

前記制御部は、前記表示部において前記コンテンツアイコンが長押しされてからフリックされたことを検出すると、前記コンテンツが前記表示装置に表示されるように、前記コンテンツを前記記憶部から読み出し、前記通信インターフェイス部を介して前記表示装置に転送する

携帯端末。

[請求項2] 前記制御部は、前記コンテンツアイコンが長押しされたことを検出すると、前記表示画面における予め定められた位置に、前記表示装置に対応づけられたアイコンである表示装置アイコンを表示し、前記コンテンツアイコンが前記表示装置アイコンに向けてフリックされた場合に、前記転送を行う

請求項１記載の携帯端末。

[請求項3] 前記制御部はさらに、前記コンテンツアイコンが長押しされたことを検出すると、前記表示画面における予め定められた位置に、当該携帯端末に対応づけられたアイコンである携帯端末アイコンを表示し、前記コンテンツアイコンが前記携帯端末アイコンに向けてフリックされた場合に、前記コンテンツを前記記憶部から読み出して前記表示画面に表示する

請求項２記載の携帯端末。

[請求項4] 前記制御部はさらに、前記コンテンツアイコンが前記表示装置アイコンにドラッグされた場合に前記転送を行い、前記コンテンツアイコ

ンが前記携帯端末アイコンにドラッグされた場合に前記表示を行う

請求項３記載の携帯端末。

[請求項5] 前記記憶部はさらに、第１のＷｅｂページを保持し、

前記制御部はさらに、

前記記憶部から前記第１のＷｅｂページを読み出して前記表示画面に表示し、

前記表示部において前記第１のＷｅｂページが長押しされてから第１の方向にフリックされたことを検出すると、前記第１のＷｅｂページが前記表示装置に表示されるように、前記通信インターフェイス部を介して前記第１のＷｅｂページの所在情報を前記表示装置に転送する

請求項１記載の携帯端末。

[請求項6] 前記制御部はさらに、前記表示部において前記第１のＷｅｂページが長押しされてから第２の方向にフリックされたことを検出すると、前記表示装置に表示されている第２のＷｅｂページが前記表示画面に表示されるように、前記表示装置に対して前記第２のＷｅｂページの所在情報の送信を指示し、前記表示装置から送信されてくる前記所在情報を前記通信インターフェイス部を介して受信した後に、受信した前記所在情報に基づいて前記第２のＷｅｂページを取得して前記表示画面に表示する

請求項５記載の携帯端末。

[請求項7] 前記制御部はさらに、

前記表示画面に第３のＷｅｂページの所在情報に対応づけられたリンクアイコンを表示し、

前記表示部において前記リンクアイコンが長押しされてからフリックされたことを検出すると、前記第３のＷｅｂページが前記表示装置に表示されるように、前記通信インターフェイス部を介して前記所在情報を前記表示装置に転送する

請求項５記載の携帯端末。

[請求項8] 前記記憶部は、複数のコンテンツを保持し、

前記制御部は、

前記複数のコンテンツに対応づけられたアイコンであるフォルダアイコンを前記表示画面に表示し、

前記表示部において前記フォルダアイコンが長押しされてからフリックされたことを検出すると、前記複数のコンテンツが順に又は一覧で前記表示装置に表示されるように、前記複数のコンテンツを前記記憶部から読み出し、前記通信インターフェイス部を介して前記表示装置に転送する

請求項１記載の携帯端末。

[請求項9] 前記制御部は、

前記コンテンツアイコンが一本指で長押しされてから第３の方向にフリックされたことを検出すると、前記コンテンツを前記表示装置に送信して前記表示装置に表示させ、

前記コンテンツアイコンが二本指で押されてから前記第３の方向にフリックされたことを検出すると、前記コンテンツを前記表示装置に送信して前記表示装置に保存させる

請求項１記載の携帯端末。

[請求項10] 前記制御部はさらに、

前記表示装置が保持するコンテンツ、及び、前記表示装置に表示されているコンテンツの少なくとも一方に対応づけられたアイコンである表示装置コンテンツアイコンを前記表示画面に表示し、

前記表示装置コンテンツアイコンが押されたことを検出すると、当該表示装置コンテンツアイコンに対応する前記コンテンツを前記表示装置から取得する

請求項１記載の携帯端末。

[請求項11] 前記制御部は、

前記表示装置コンテンツアイコンが一本指で長押しされてから第４の方向にフリックされたことを検出すると、当該表示装置コンテンツアイコンに対応する前記コンテンツを前記表示装置から取得して前記表示画面に表示し、

前記表示装置コンテンツアイコンが二本指で前記第４の方向にフリックされたことを検出すると、当該表示装置コンテンツアイコンに対応する前記コンテンツを前記表示装置から取得して前記記憶部に保存する

請求項１０記載の携帯端末。

[請求項12] 携帯端末と通信路で接続されるテレビ放送受信装置であって、

表示画面と、

放送番組を含むコンテンツを受信する受信部と、

前記携帯端末と通信するための通信インターフェイス部と、

前記受信部で受信したコンテンツを前記表示画面に表示するとともに、当該コンテンツを前記表示画面に表示していることを、前記通信インターフェイス部を介して前記携帯端末に通知する制御部とを備え、

前記制御部はさらに、前記通信インターフェイス部を介して前記携帯端末から、前記表示画面に表示しているコンテンツに対する送信要求を受信すると、当該コンテンツを、前記通信インターフェイス部を介して前記携帯端末に送信する

テレビ放送受信装置。

[請求項13] 表示装置と通信路で接続される携帯端末による機器連携方法であって、

前記携帯端末は、前記表示装置と通信するための通信インターフェイス部と、前記表示装置に表示させるためのコンテンツを保持する記憶部と、タッチパッド及び表示画面を有する表示部とを備え、

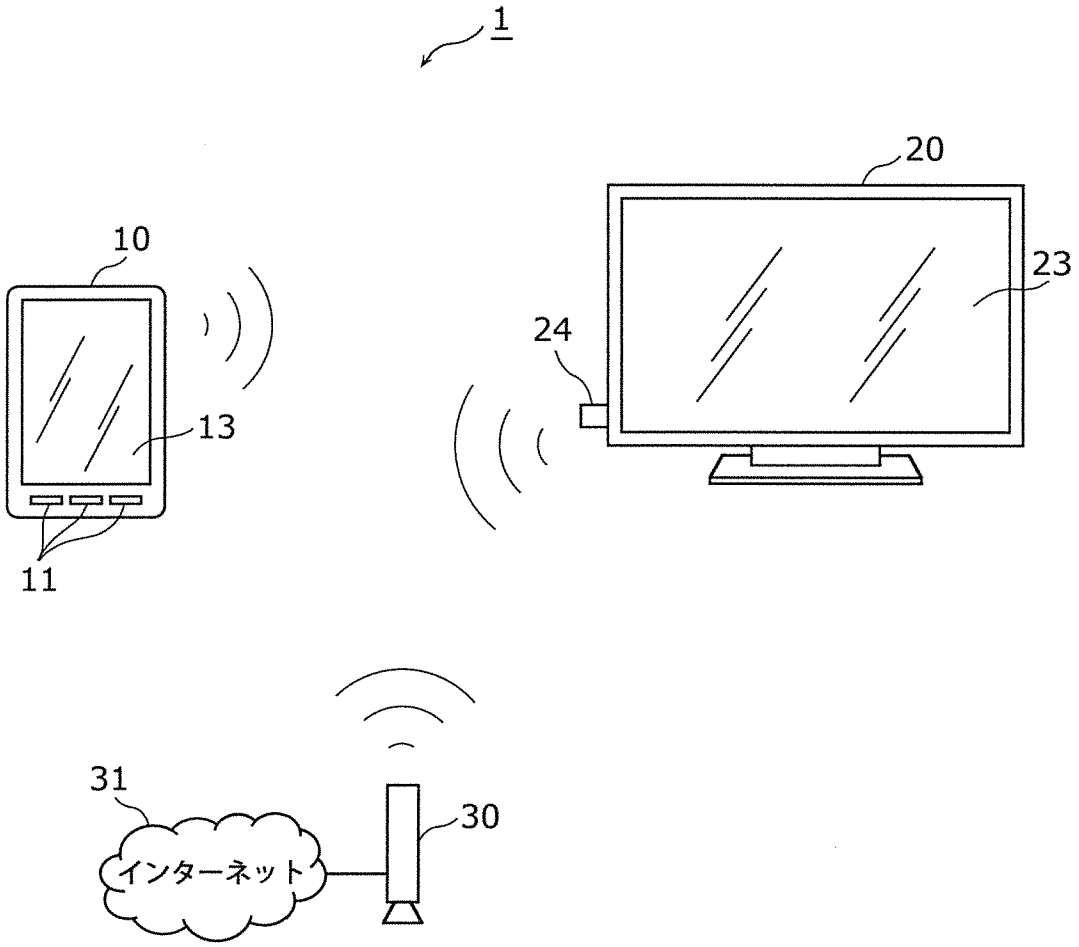
前記機器連携方法は、

前記コンテンツに対応づけられたアイコンであるコンテンツアイコンを前記表示画面に表示するステップと、

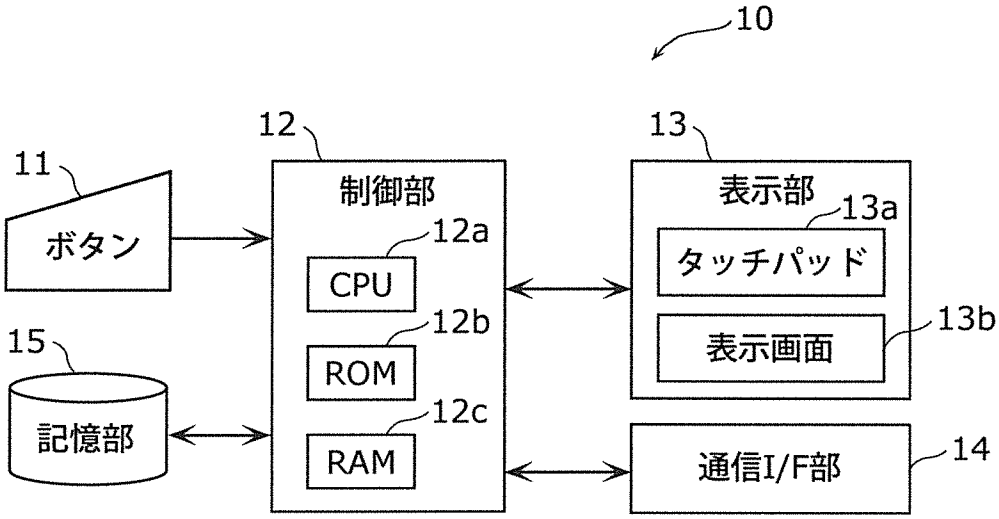
前記表示部において前記コンテンツアイコンが長押しされてからフリックされたことを検出すると、前記コンテンツが前記表示装置に表示されるように、前記コンテンツを前記記憶部から読み出し、前記通信インターフェイス部を介して前記表示装置に転送するステップとを含む

機器連携方法。

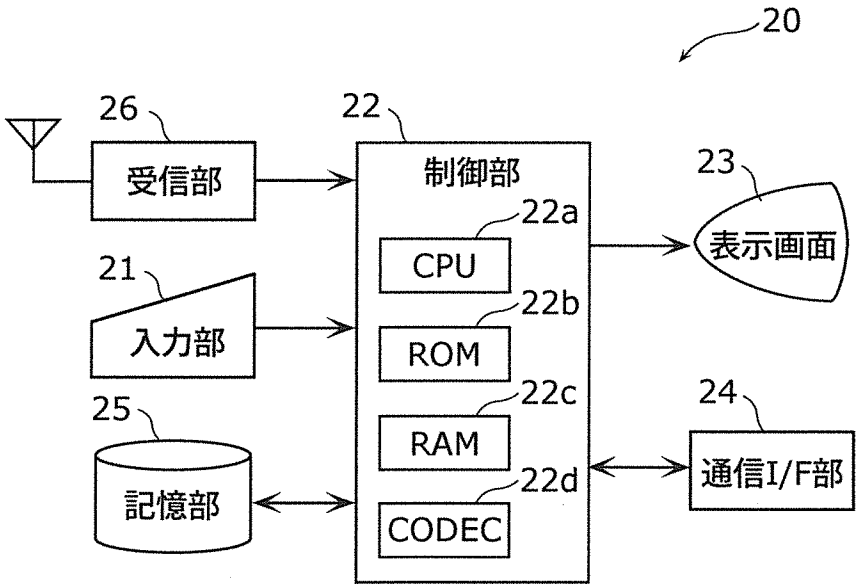
[図1]



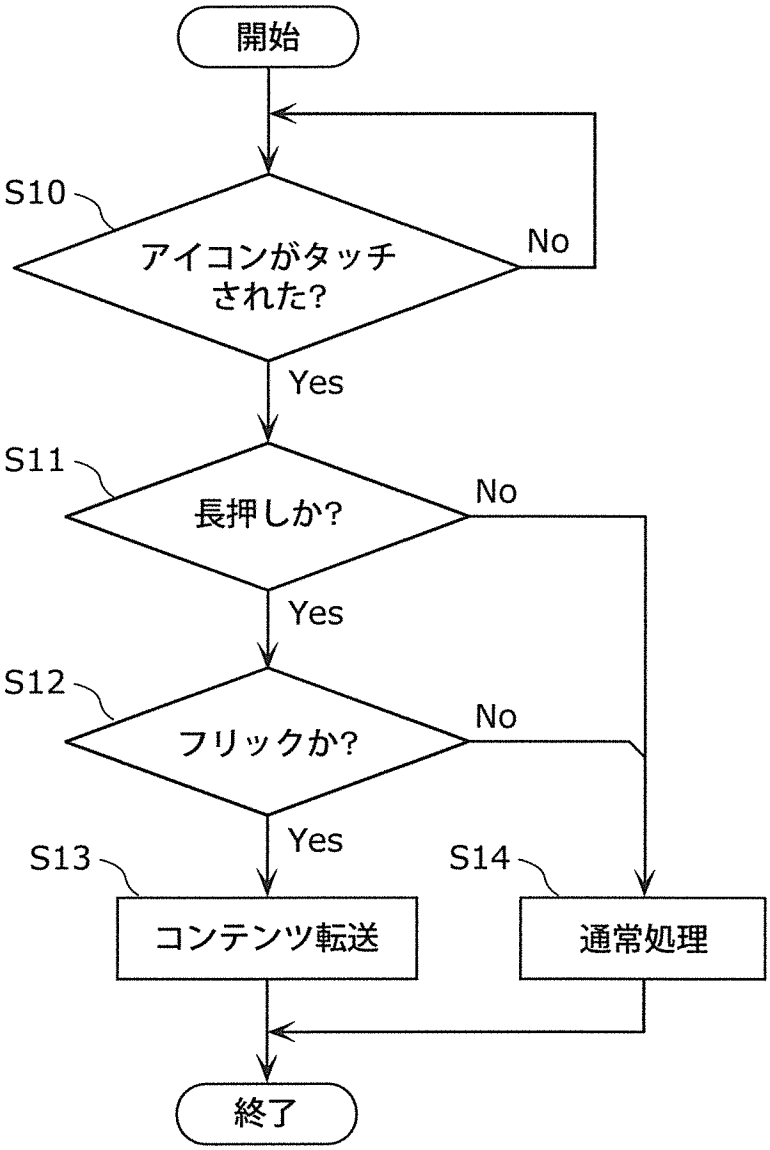
[図2A]


10
11
ボタン
12
制御部
12a
CPU
12b
ROM
12c
RAM
13
表示部
13a
タッチパッド
表示画面
13b
15
記憶部
通信I/F部
14

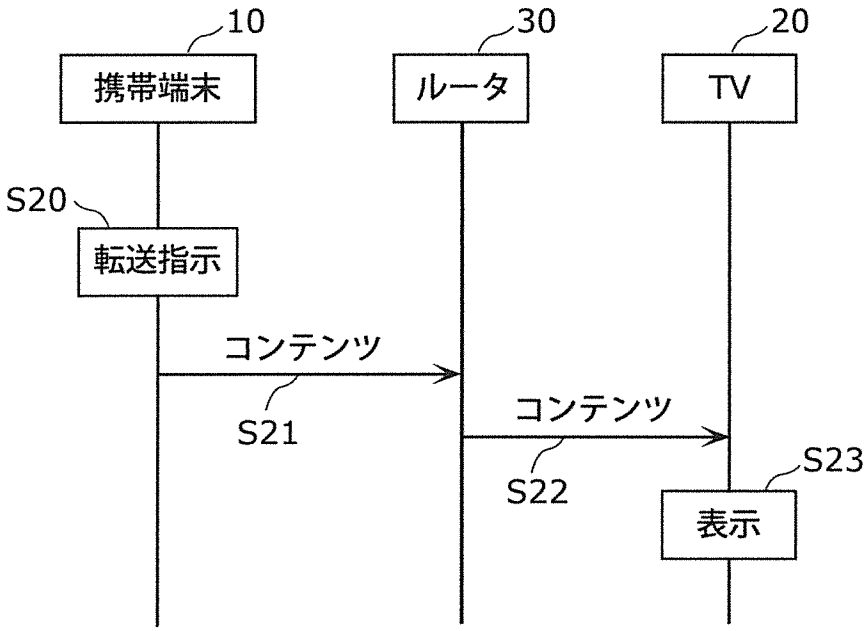
[図2B]


20
26
受信部
22
制御部
22a
CPU
22b
ROM
22c
RAM
22d
CODEC
23
表示画面
21
入力部
25
記憶部
24
通信I/F部

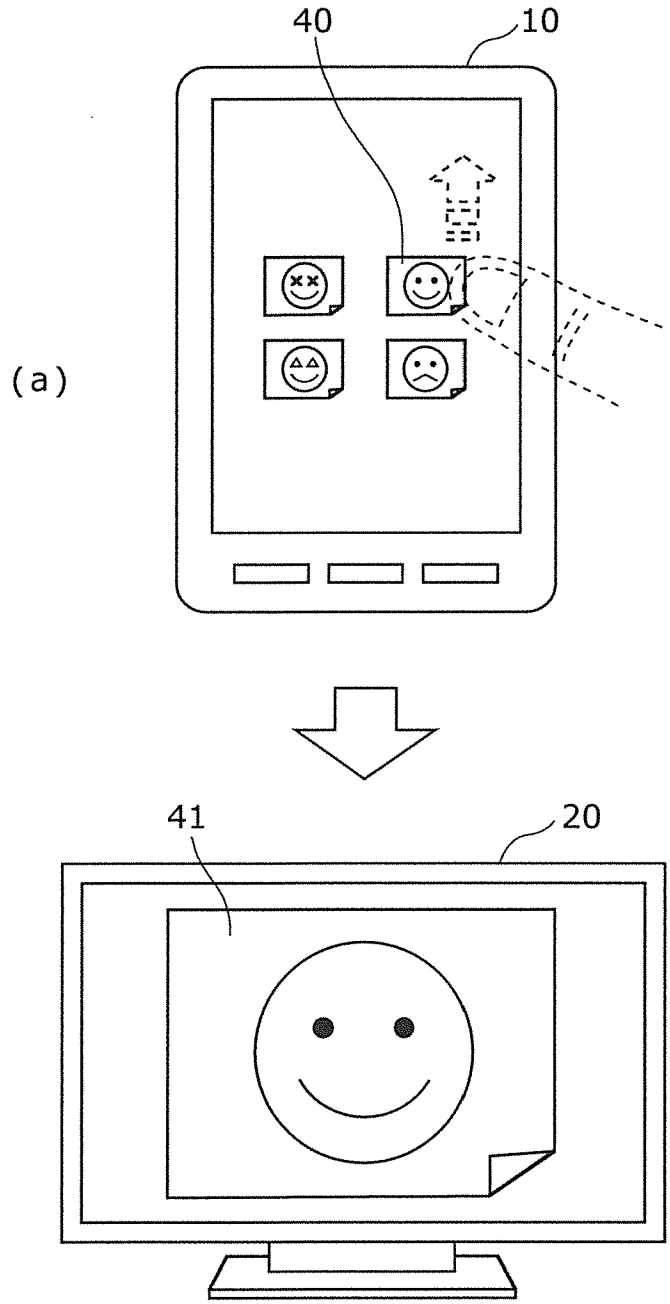
[図3]


開始
S10
アイコンがタッチされた?
No
Yes
S11
長押しか?
No
Yes
S12
フリックか?
No
Yes
S13
コンテンツ転送
S14
通常処理
終了

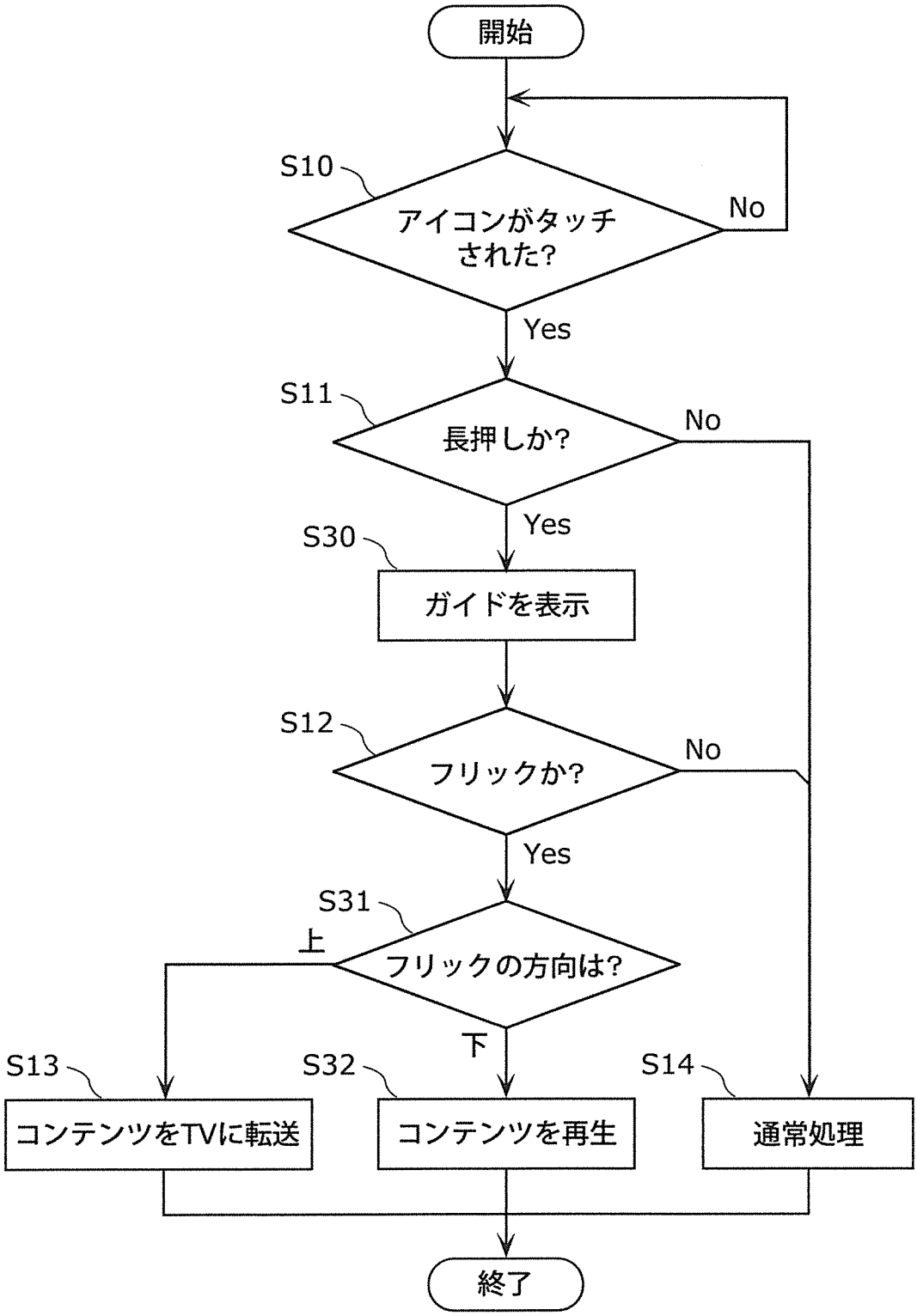
[図4]


10
携帯端末
30
ルータ
20
TV
S20
転送指示
コンテンツ
S21
コンテンツ
S22
S23
表示

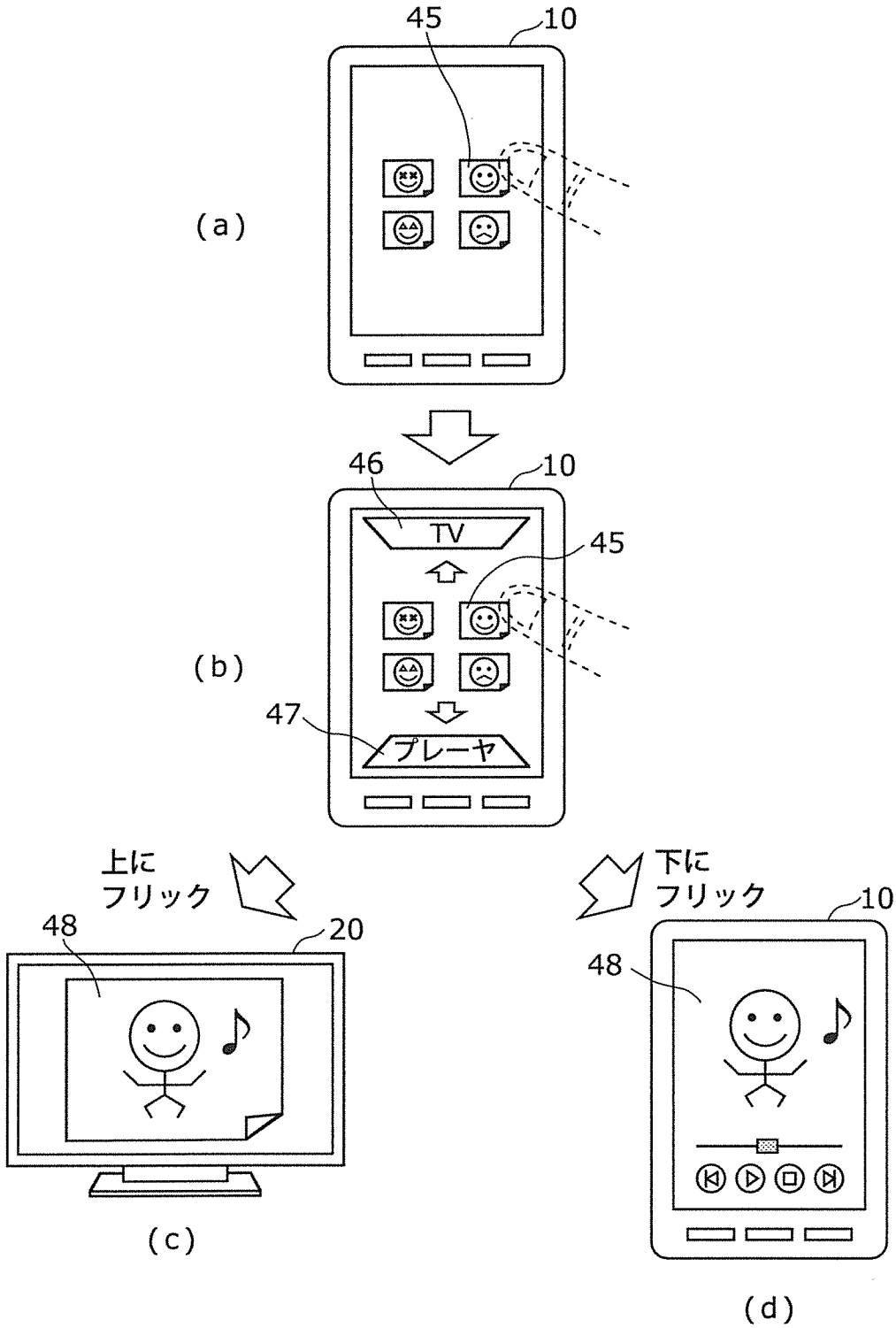
[図5]



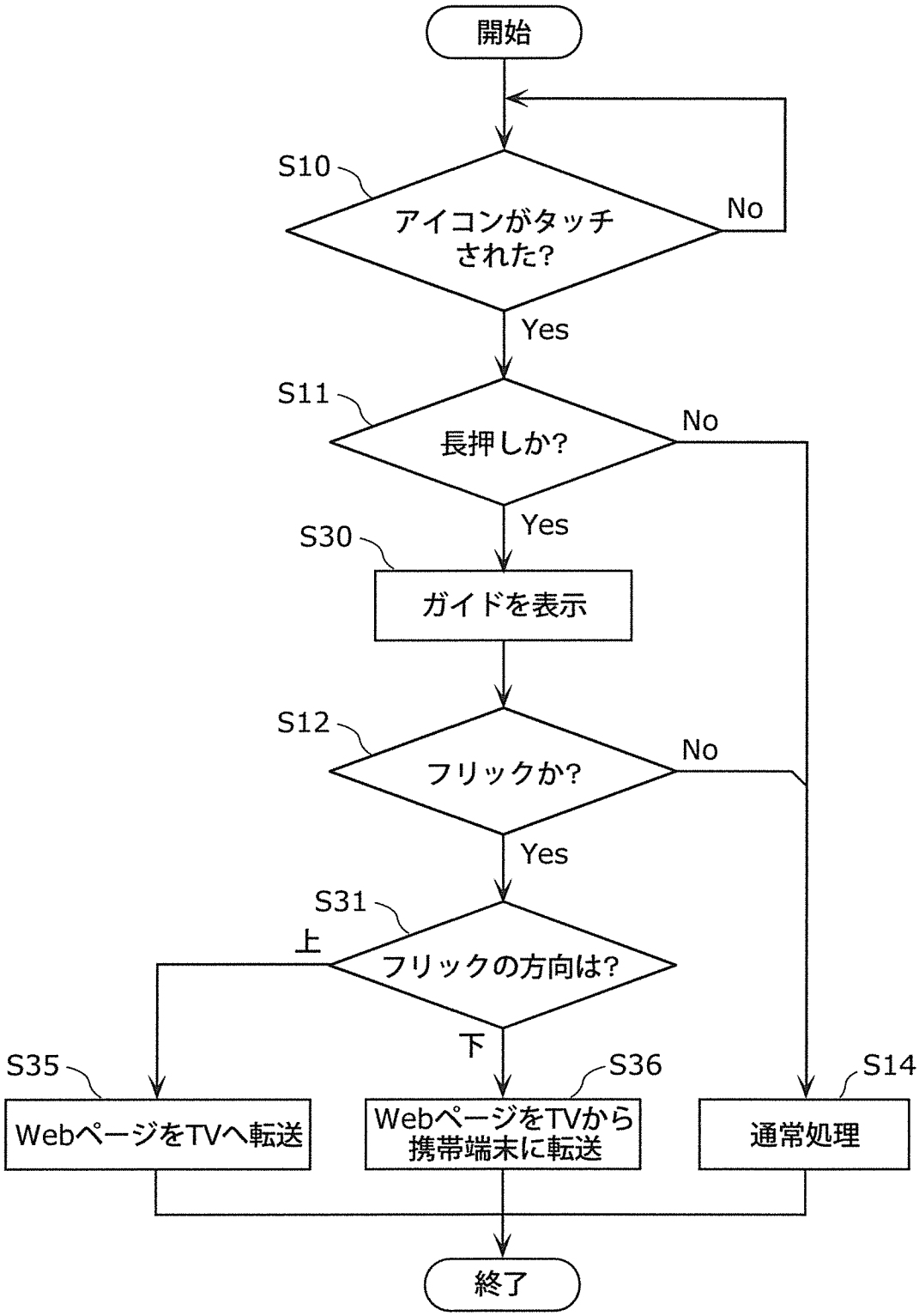
[図6]


開始
S10
アイコンがタッチされた?
No
Yes
S11
長押しか?
No
Yes
S30
ガイドを表示
S12
フリックか?
No
Yes
S31
フリックの方向は?
上
下
S13
コンテンツをTVに転送
S32
コンテンツを再生
S14
通常処理
終了

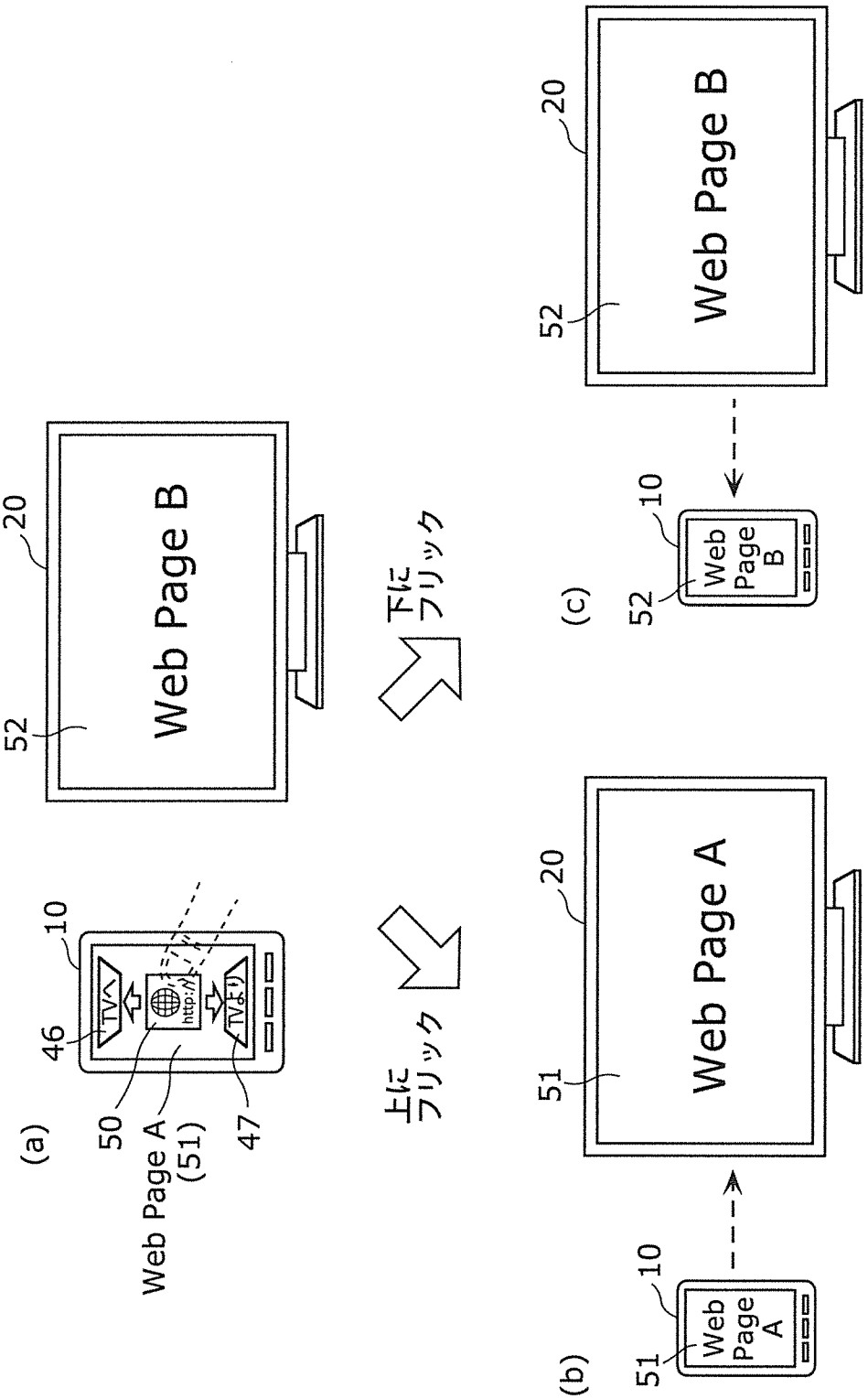
[図7]



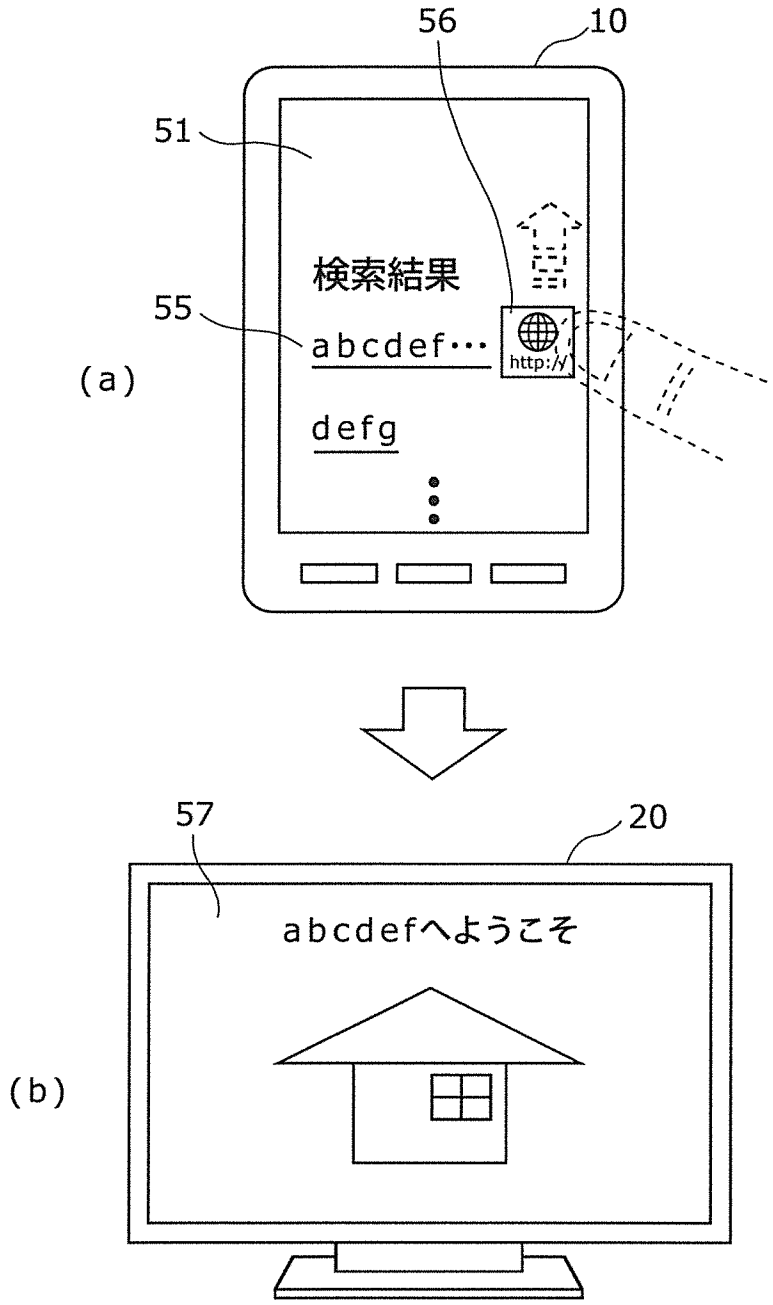
[図8]


開始
S10
アイコンがタッチされた?
No
Yes
S11
長押しか?
No
Yes
S30
ガイドを表示
S12
フリックか?
No
Yes
S31
フリックの方向は?
上
下
S35
Webページを TVへ転送
S36
Webページを TVから携帯端末に転送
S14
通常処理
終了

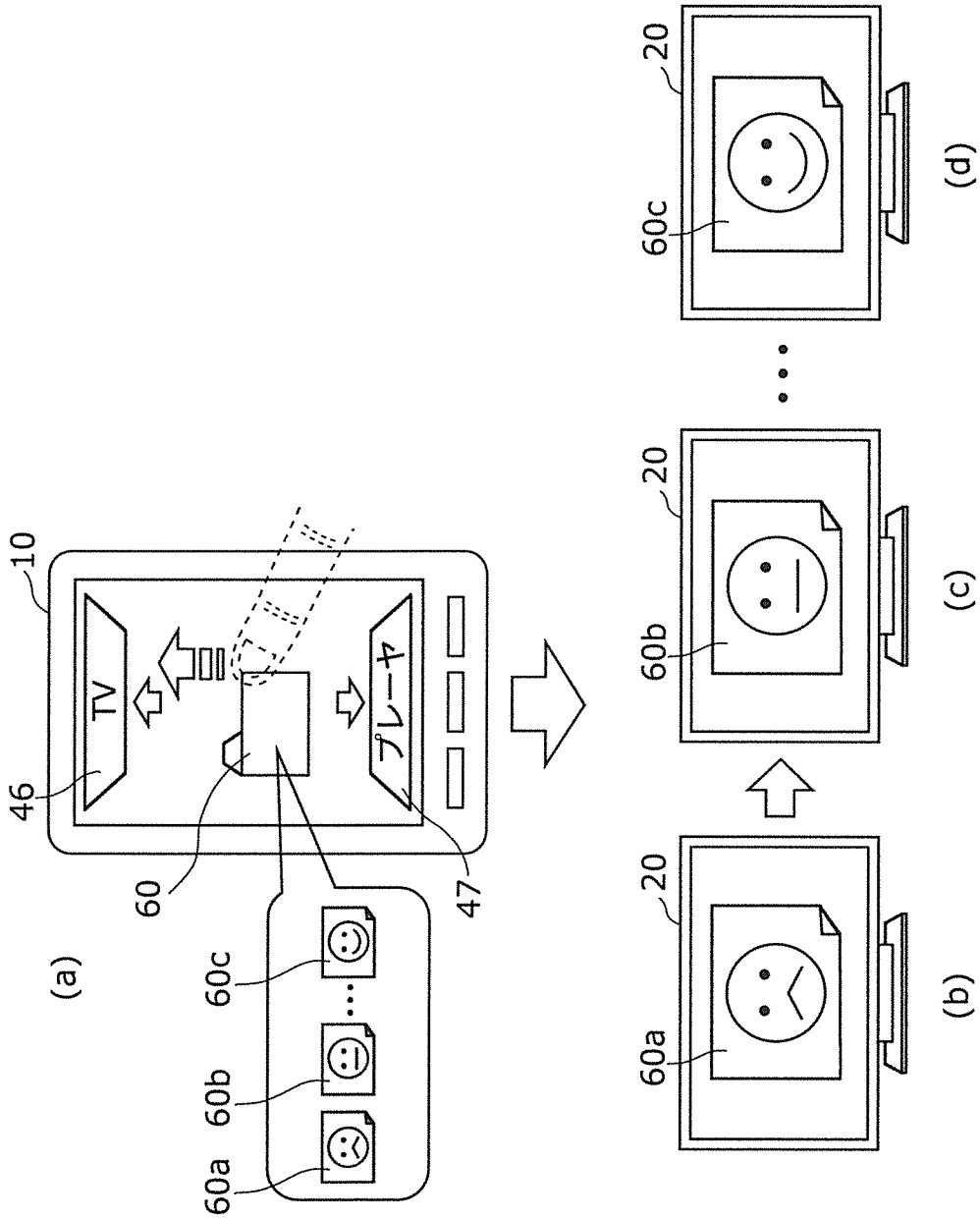
[図9]


(a)
10
46
50
Web Page A
(51)
47
20
52
Web Page B
下にフリック
上にフリック
(b)
10
51
Web Page A
20
51
Web Page A
(c)
10
52
Web Page B
20
52
Web Page B

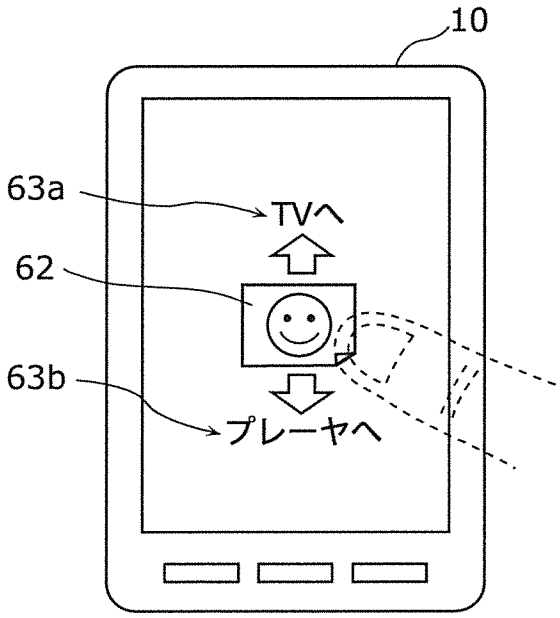
[図10]



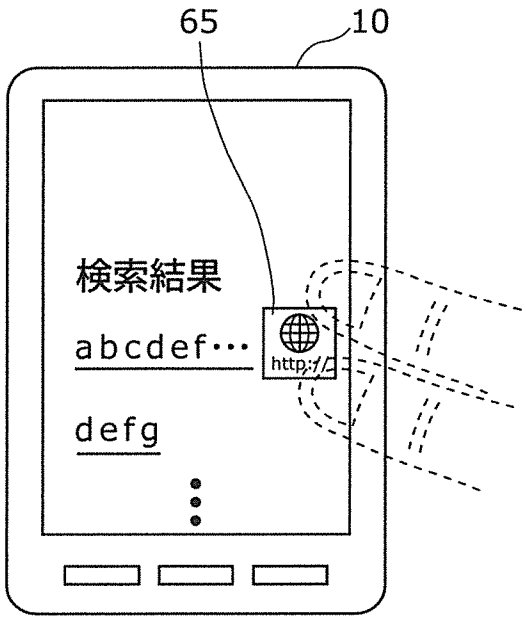
[図11]



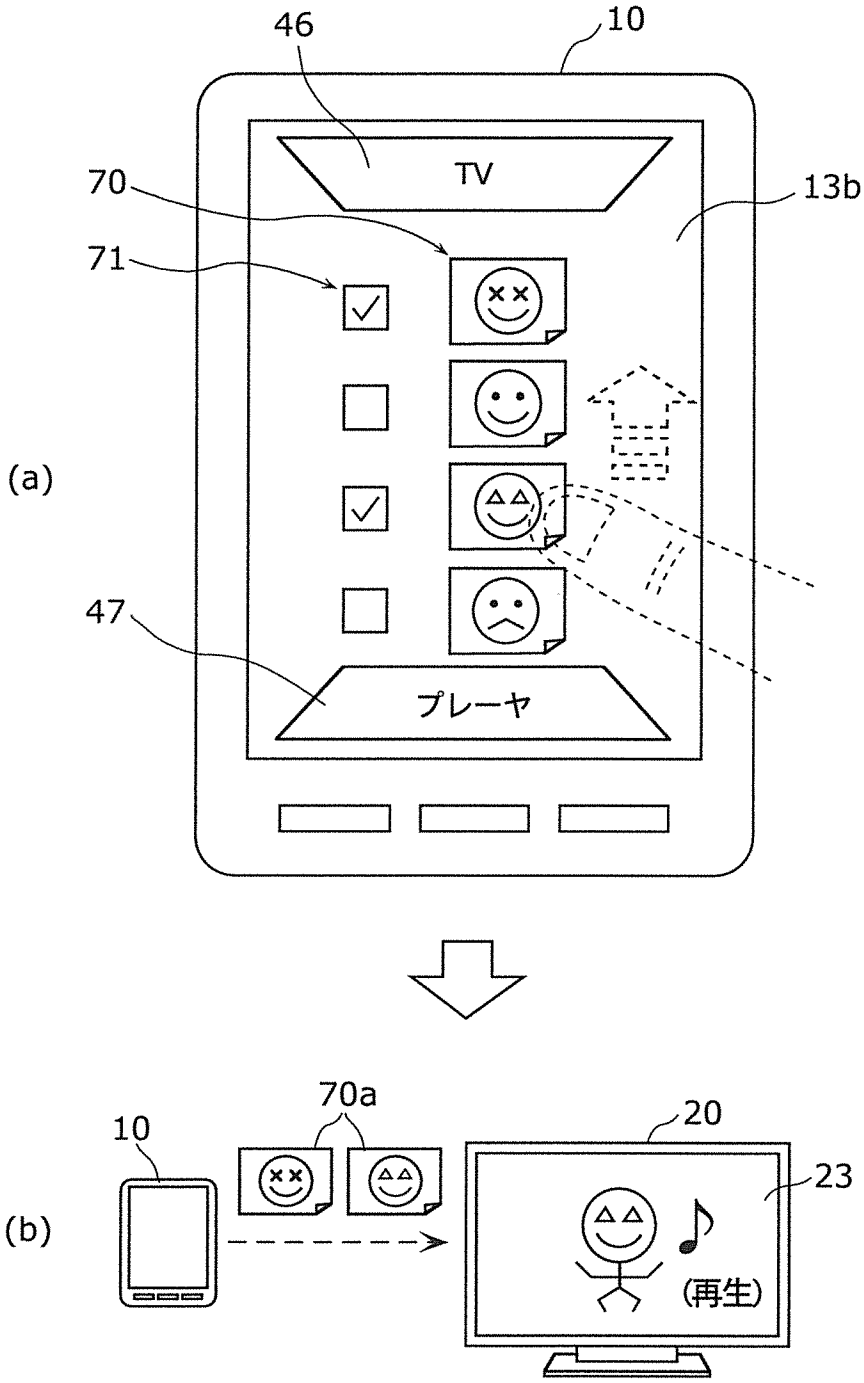
[図12A]



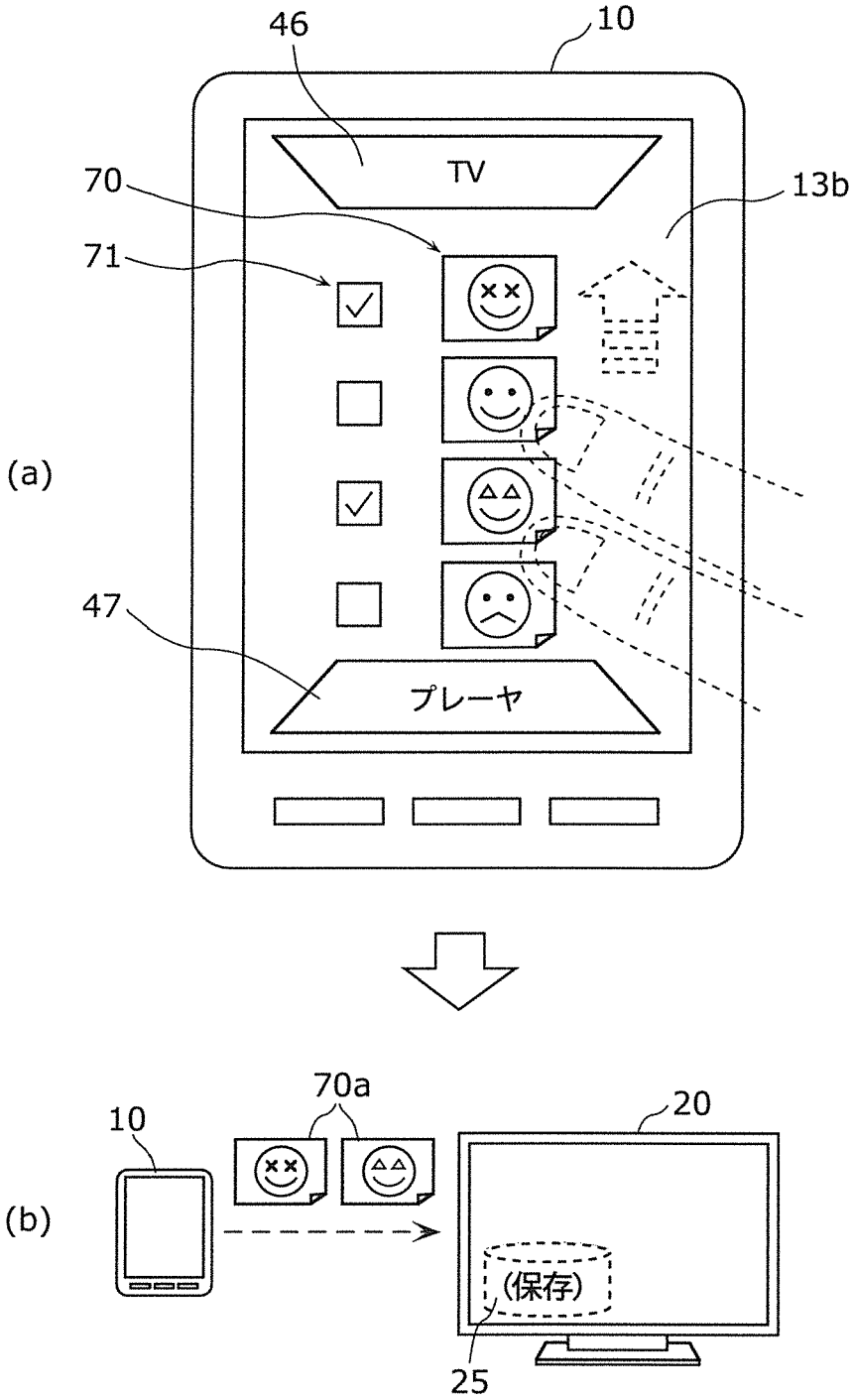
[図12B]



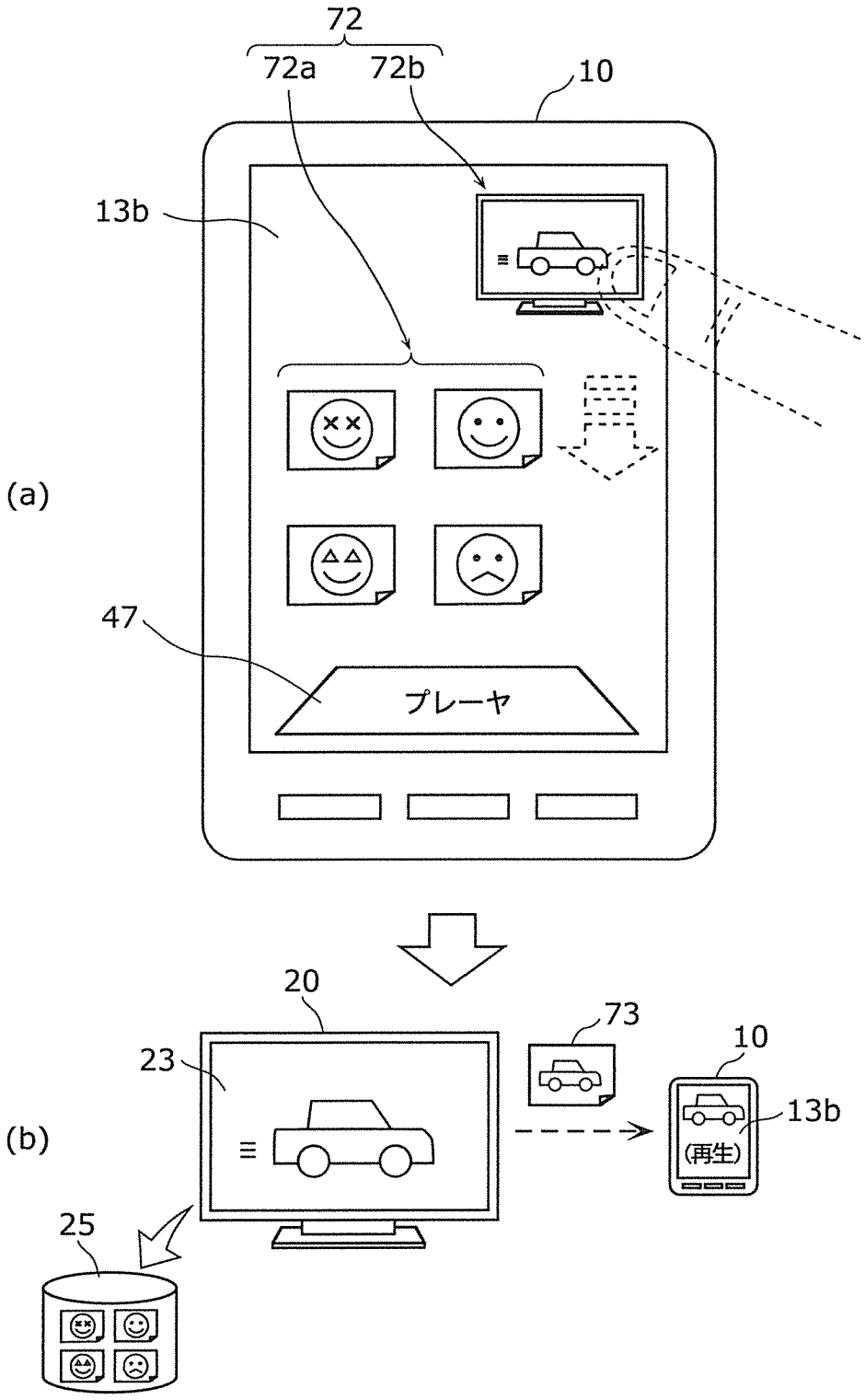
[図13A]



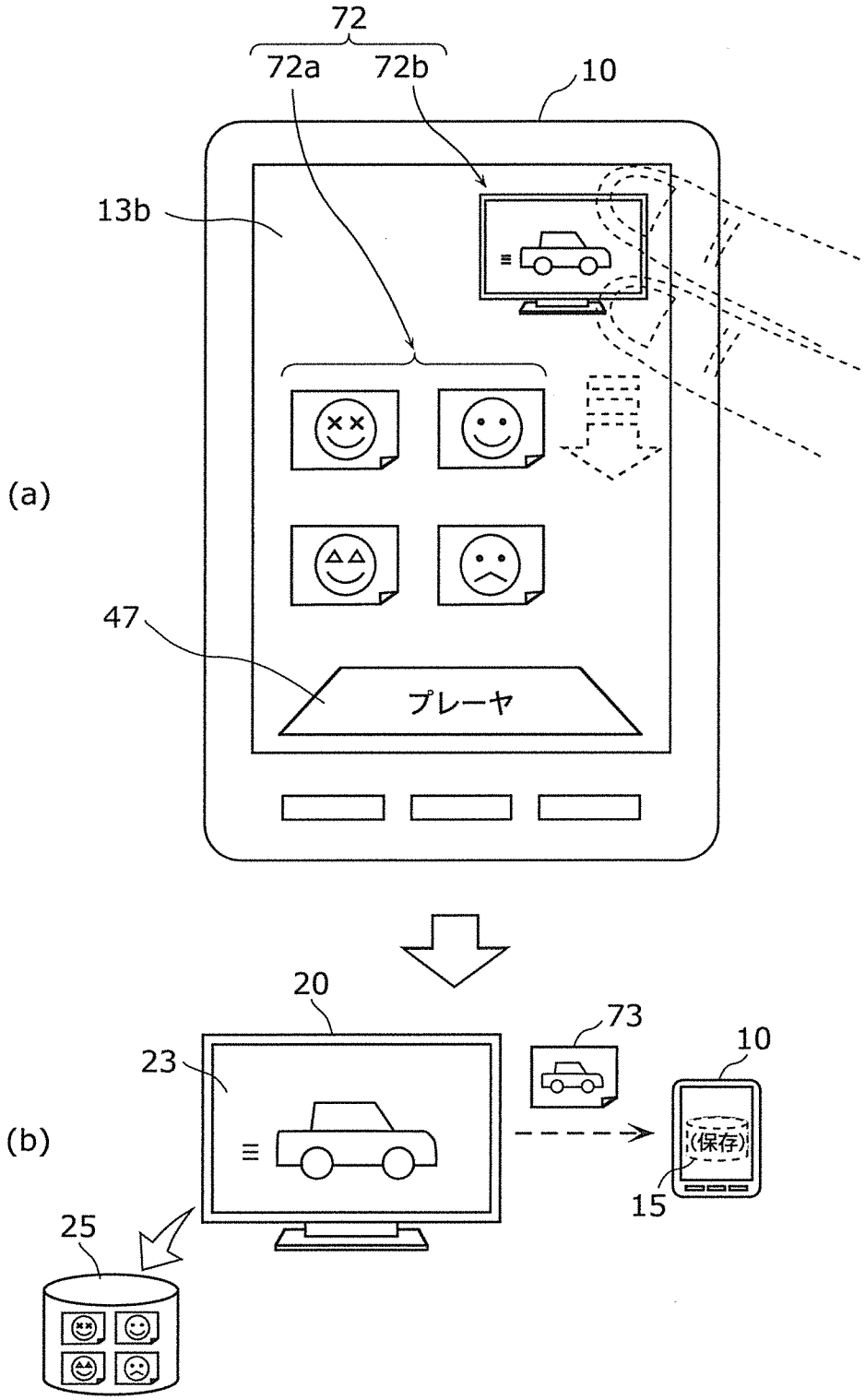
[図13B]



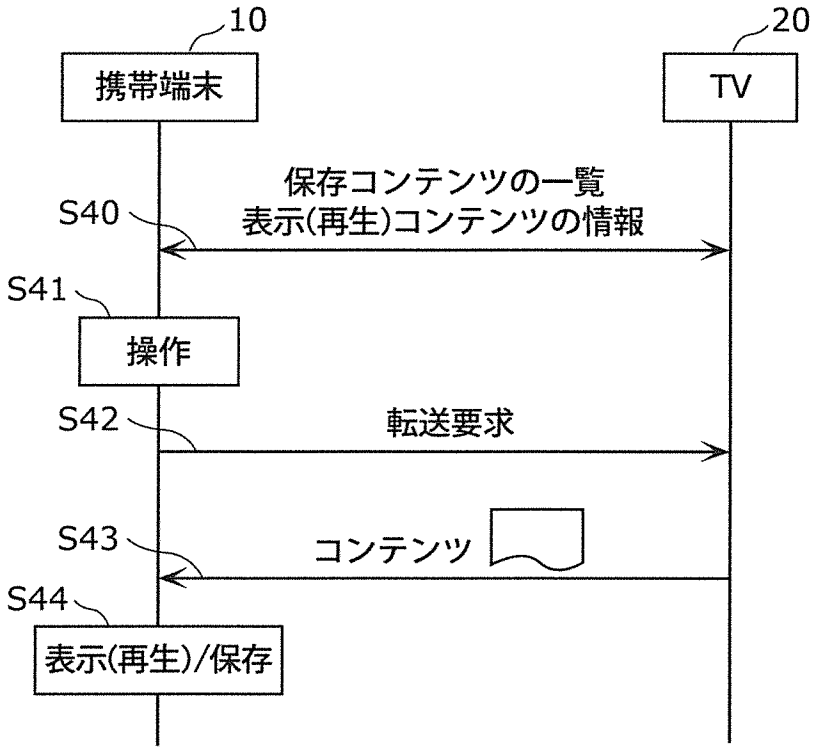
[図14A]



[図14B]



[図15]


10
携帯端末
20
TV
保存コンテンツの一覧
表示(再生)コンテンツの情報
S40
S41
操作
S42
転送要求
S43
コンテンツ
S44
表示(再生)/保存

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2012/008103

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
G06F3/0488(2013.01)i, *G06F3/041*(2006.01)i, *G06F13/00*(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
G06F3/0488, G06F3/041, G06F13/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2013
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2013	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2013

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y A	WO 2011/125831 A1 (Funai Electric Co., Ltd.), 13 October 2011 (13.10.2011), paragraphs [0046] to [0048]; fig. 5, 6 & JP 2011-217316 A	1-5,7-13 6
Y A	JP 2011-090673 A (Zaidan Hojin Industrial Technology Research Institute), 06 May 2011 (06.05.2011), paragraph [0070] & US 2011/0092222 A1 & DE 102010047107 A & TW 201115451 A	1-5,7-13 6
Y A	JP 2011-248497 A (Sony Corp.), 08 December 2011 (08.12.2011), paragraphs [0052] to [0059]; fig. 4, 5 & EP 2390787 A2 & CN 102298603 A	2-5,7-9,11 6

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed
"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search 14 March, 2013 (14.03.13)	Date of mailing of the international search report 02 April, 2013 (02.04.13)
Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office Facsimile No.	Authorized officer Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2012/008103

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	ITmedia +D Henshubu, "Smart Familink o Tamesu: Shashin, TV, Ongaku o Seamless ni Tanoshimu- IS12SH×AQUOS de Kawaru Seikatsu Style (1/2) - ITmedia Mobile", [online], 06 July 2011 (06.07. 2011), [retrieval date 14 March 2013 (14.03. 2013)], Internet, <URL:http://www.itmedia.co. jp/mobile/articles/1107/06/news002.html>	1-13

国際調査報告

国際出願番号　ＰＣＴ／ＪＰ２０１２／００８１０３

Ａ．　発明の属する分野の分類（国際特許分類（ＩＰＣ））

Int.Cl.　G06F3/0488(2013.01)i, G06F3/041(2006.01)i, G06F13/00(2006.01)i

Ｂ．　調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（ＩＰＣ））

Int.Cl.　G06F3/0488, G06F3/041, G06F13/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	１９２２－１９９６年
日本国公開実用新案公報	１９７１－２０１３年
日本国実用新案登録公報	１９９６－２０１３年
日本国登録実用新案公報	１９９４－２０１３年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

Ｃ．　関連すると認められる文献

引用文献のカテゴリー＊	引用文献名　及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する請求項の番号
Y A	WO 2011/125831 A1 (船井電機株式会社) 2011.10.13, 段落［００４６］－［００４８］, 図５，６ & JP 2011-217316 A	1-5,7-13 6
Y A	JP 2011-090673 A (財団法人工業技術研究院) 2011.05.06, 段落【００７０】 & US 2011/0092222 A1 & DE 102010047107 A & TW 201115451 A	1-5,7-13 6

☑　Ｃ欄の続きにも文献が列挙されている。　　☐　パテントファミリーに関する別紙を参照。

＊　引用文献のカテゴリー
「Ａ」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「Ｅ」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「Ｌ」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「Ｏ」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「Ｐ」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献
「Ｔ」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「Ｘ」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Ｙ」特に関連のある文献であって、当該文献と他の１以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「＆」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日	国際調査報告の発送日
１４．０３．２０１３	０２．０４．２０１３

国際調査機関の名称及びあて先
日本国特許庁（ＩＳＡ／ＪＰ）
郵便番号１００－８９１５
東京都千代田区霞が関三丁目４番３号

特許庁審査官（権限のある職員）　５Ｅ　４４４１
萩島　豪
電話番号　０３－３５８１－１１０１　内線　３５２１

Ｃ（続き）．　関連すると認められる文献

引用文献のカテゴリー＊	引用文献名　及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する請求項の番号
Y A	JP 2011-248497 A (ソニー株式会社) 2011.12.08, 段落【００５２】－【００５９】, 図４，５ & EP 2390787 A2 & CN 102298603 A	2-5,7-9,11 6
A	ＩＴｍｅｄｉａ　＋Ｄ　編集部,″スマートファミリンクを試す：写真、テレビ、音楽をシームレスに楽しむ――IS12SH×AQUOS で変わる生活スタイル (1/2) - ITmedia Mobile″, [online], 2011.07.06, [２０１３年３月１４日検索], インターネット, <URL: http://www.itmedia.co.jp/mobile/articles/1107/06/news002.html>	1-13